

本資料のうち、枠囲みの内容は
商業機密の観点から公開できま
せん。

女川原子力発電所第2号機 工事計画審査資料	
資料番号	02-補-E-01-0100_改2
提出年月日	2021年11月24日

補足-100 工事計画認可申請書における本文および添付書類の作成要領に
ついて

東北電力株式会社

工事計画添付書類に係る補足説明資料

添付書類の記載内容を補足するための資料を以下に示す。

工認添付書類	補足説明資料
—	補足-100-1 工事計画認可申請における本文および添付書類の作成要領について
—	補足-100-2 技術基準規則と工事計画認可申請書の添付書類との紐付き表
—	補足-100-3 女川2号機既設設備改造／修理工事一覧

女川原子力発電所第2号機 工事計画審査資料	
資料番号	02-補-E-01-0100-1_改3

補足-100-1 工事計画認可申請における本文および添付書類の作成要領について

目 次

- 1 工事計画認可申請における資料作成にあたっての基本的考え方
- 2 工事計画認可申請における要目表の作成要領
- 3 工事計画認可申請における基本設計方針の作成要領
- 4 工事計画認可申請書に記載する適用基準及び適用規格について
- 5 工事計画認可申請書に添付する添付書類の考え方について
- 6 工事計画認可申請における添付書類の作成要領
- 7 工事計画認可申請における添付図面の作成要領
- 8 共用設備の工認書類の扱いについて
- 9 参考資料
 - 別紙 1 技術基準規則の新旧比較表
 - 別紙 2 設置許可基準規則と技術基準規則の比較表

1 工事計画認可申請における資料作成にあたっての基本的考え方

【工事計画認可申請書に記載すべき内容】

(本文)

- ・「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則（以下「技術基準規則」という。）」に適合させるために必要な詳細設計の内容
- ・「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則（以下「設置許可基準規則」という。）」への適合性を確認するための設備の仕様を決定する上での設計方針（設備と一体となって適合性を担保する運用を含む）を基にした詳細設計の内容

(添付書類)

- ・それらの具体的な考え方、実現方法およびその根拠

工事計画認可申請書の書類構成のイメージ図を別紙1に示す。

詳細設計の具体的な内容は以下の記載方針のとおり。

本文記載箇所		記載方針
1	要目表	<ul style="list-style-type: none"> ・「工事計画認可申請書に記載すべき内容」のうち、「実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則（以下「実用炉規則」という。）」の「別表第二」（以下「別表第二」という。）の中欄に該当する設備について、発電用原子炉施設の種類ごとに定められた事項を記載する。
2	基本設計方針	<ul style="list-style-type: none"> ・「工事計画認可申請書に記載すべき内容」のうち、要目表で記載した以外について、以下の考え方で作成する。 <p>(a) 設置変更許可本文記載の工事計画認可申請対象設備に関して、設置変更許可との整合性を確保する観点より設置許可基準規則に適合させるため「設備設計方針」や設備と一体となって適合性を担保するための「運用」を基にした詳細設計が必要な設計要求事項を記載する。</p> <p>(b) 技術基準規則の本文・解釈への適合性の観点で、設置変更許可本文以外で詳細設計が必要な設計要求事項がある場合は、その理由を「各条文の設計の考え方」に明確にした上で記載する。</p>

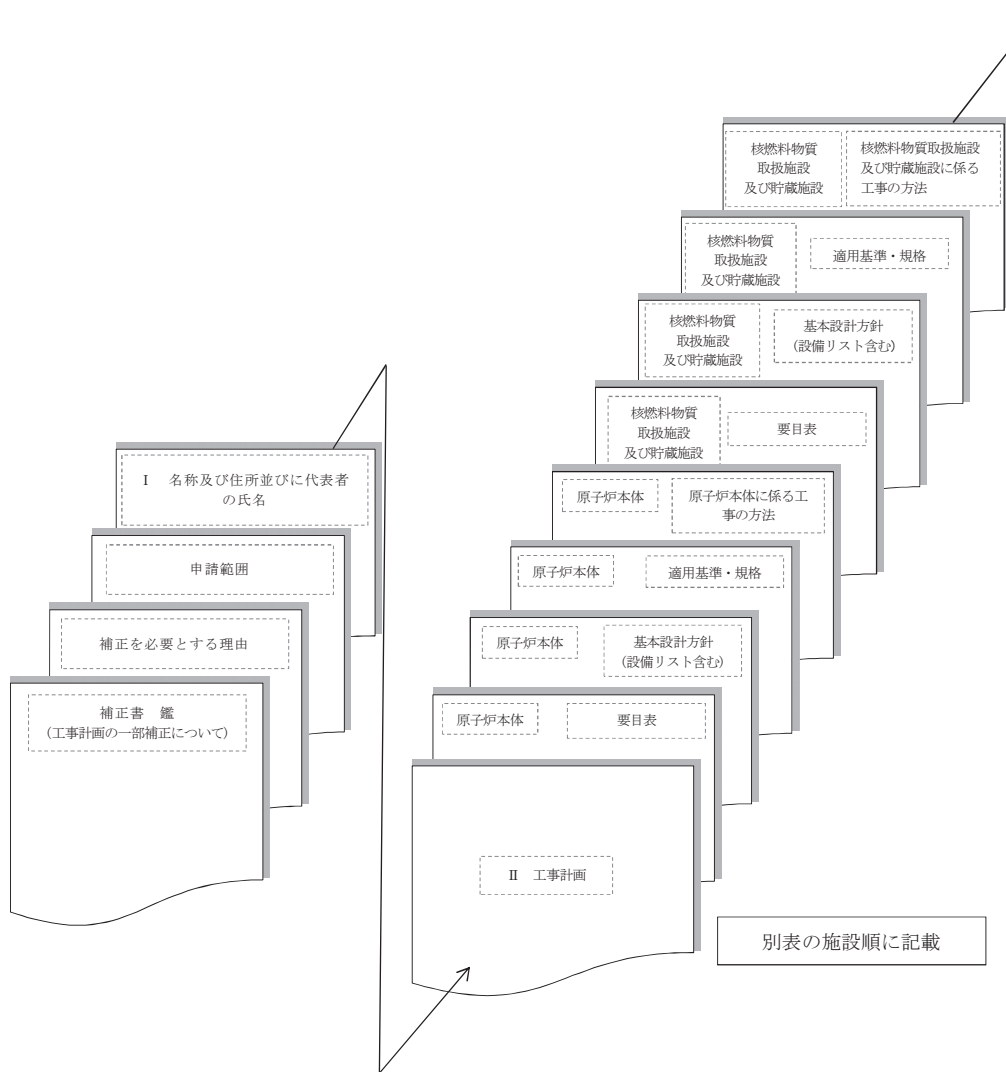
本文記載箇所	記載方針		
2	前頁の 続き	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主的に設置したものは原則記載しない。 ・ 基本設計方針は必要に応じて並び替えることにより、技術基準規則の条文の並びとなるよう構成し、箇条書きとするなど表現を工夫する。また、適用する設備ごとに記載する。 ・ 作成にあたっては、必要に応じ、以下に示す考え方も反映し作成する。 	
		<p>基① (手段の 明確化)</p>	<p>設置変更許可本文記載事項のうち、「性能」を記載している設計方針は、技術基準規則への適合性を確保する上で、その「性能」を持たせるための手段を特定できるように記載する。</p> <p>また、技術基準規則への適合性の観点で、設置変更許可本文に対応した事項以外に必要となる運用を付加する場合も同様の記載を行う。なお、手段となる「仕様」が要目表で明確な場合は記載しない。</p> <p>(例)</p> <p>【設置変更許可】…安全機能を有する機器に使用するケーブルは、原則、実証試験により自己消火性及び延焼性を確認した難燃ケーブルを使用する設計とするが、…</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>【工事計画】火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設に使用するケーブルは、実証試験により自己消火性（UL 垂直燃焼試験）及び耐延焼性（IEEE 383（光ファイバケーブルの場合は IEEE 1202）垂直トレイ燃焼試験）を確認した難燃ケーブルを使用する設計とする。</p>
		<p>基② (運用の 担保先の 明確化)</p>	<p>設置変更許可本文記載事項のうち「運用」は、「基本設計方針」として、運用の継続的改善を阻害しない範囲で必ず遵守しなければならない条件がわかる程度の記載を行うとともに、運用を定める箇所（QMSの二次文書で定める場合は「保安規定」を記載）の呼び込みを記載し、必要に応じ、当該施設に関連する別表第二に示す添付書類の中でその運用の詳細を記載する。</p> <p>また、技術基準規則の本文・解釈への適合性の観点で、設置変更許可本文に対応した事項以外に必要となる運用を付加する場合も同様の記載を行う。</p> <p>(記載例)</p> <p>降下火砕物が長期的に堆積しないよう当該施設に堆積する降下火砕物を除去することを保安規定に定めて管理する。</p>
<p>基③ (評価に 対する 対応)</p>	<p>設置変更許可本文で評価を伴う記載がある場合は、工事計画にて担保する条件を以下のいずれかの方法を使い分けることにより記載する。</p> <ul style="list-style-type: none"> i. 評価結果が示されている場合、評価結果を受けて必要となった措置のみを工事計画の対象とする。 ii. 今後評価することが示されている場合、評価する段階（設計または工事）を明確にし、評価の方法および条件、その評価結果に応じて取る措置の両者を工事計画の対象とする。 		

本文記載箇所		記載方針	
2	前頁の 続き	基④ (該当し ない条 文)	<ul style="list-style-type: none"> ・技術基準規則第 10 条など、要求事項が該当しない条文については、該当しない旨の理由を記載する。 ・条項号のうち、適用する設備がない要求事項は、「適合するものであることを確認する」という審査の観点を踏まえ、当該要求事項の対象となる設備を設置しない旨を記載する。
		基⑤ (指針等 の 引用)	<p>技術基準規則の解釈等に示された指針・NISA 文書・他省令の呼び込みがある場合は、以下の要領で記載を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置時に適用される要求など、特定の版の使用が求められている場合は、引用する文書名および版を識別するための情報(施行日等)を記載する。 ・監視試験片の試験方法を示した規格など、条文等で特定の版が示されているが、保守管理等の運用管理の中で評価する時点でエンドースされた最新の版による評価を継続して行う必要がある場合は、保安規定等の運用の担保先の表示に加え、当該文書名とそのコード番号(必要時)を記載する。 (例) J E A C 4 2 0 1 - 2007 の「- 2007」は記載しない。 ・解釈等に示された条文番号は、該当文書改正時に変更される可能性があることを考慮し、条文番号は記載せず、条文が特定できる表題(必要に応じ、上位の表題でも可能)で記載する。 (例)38 条解釈 12 号 <p style="margin-left: 40px;">運転員が原子炉制御室に入り、とどまる間の被ばくを「核原料物質又は核燃料物質の製錬の事業に関する規則等の規定に基づく線量限度等を定める告示」第 7 条第 1 項における緊急時作業に係る線量限度 1 0 0 m S v 以下にできるものであることをいう。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>「原子力発電所中央制御室の居住性に係る被ばく評価手法について(内規)」に基づく被ばく評価により、「核原料物質又は核燃料物質の製錬の事業に関する規則等の規定に基づく線量限度等を定める告示」に示される 100mSv を下回る設計とする。</p> ・条件付の民間規格や設置変更許可の評価結果等を引用する場合は、可能な限りその条件等を文章として反映する(例 1)。また、設置変更許可申請書の添付を呼び込む場合は、対応する本文のタイトルを呼び込む(例 2)。なお、文書名を呼び込む場合においても「技術評価書」の呼び込みは行わない(例 3)。 <p>(例 1)44 条解釈 2 号 第 1 号ハに規定する「漏えい試験ができる」とは、「漏えい率試験規程(J E A C 4 2 0 3-2008)」の規定</p>

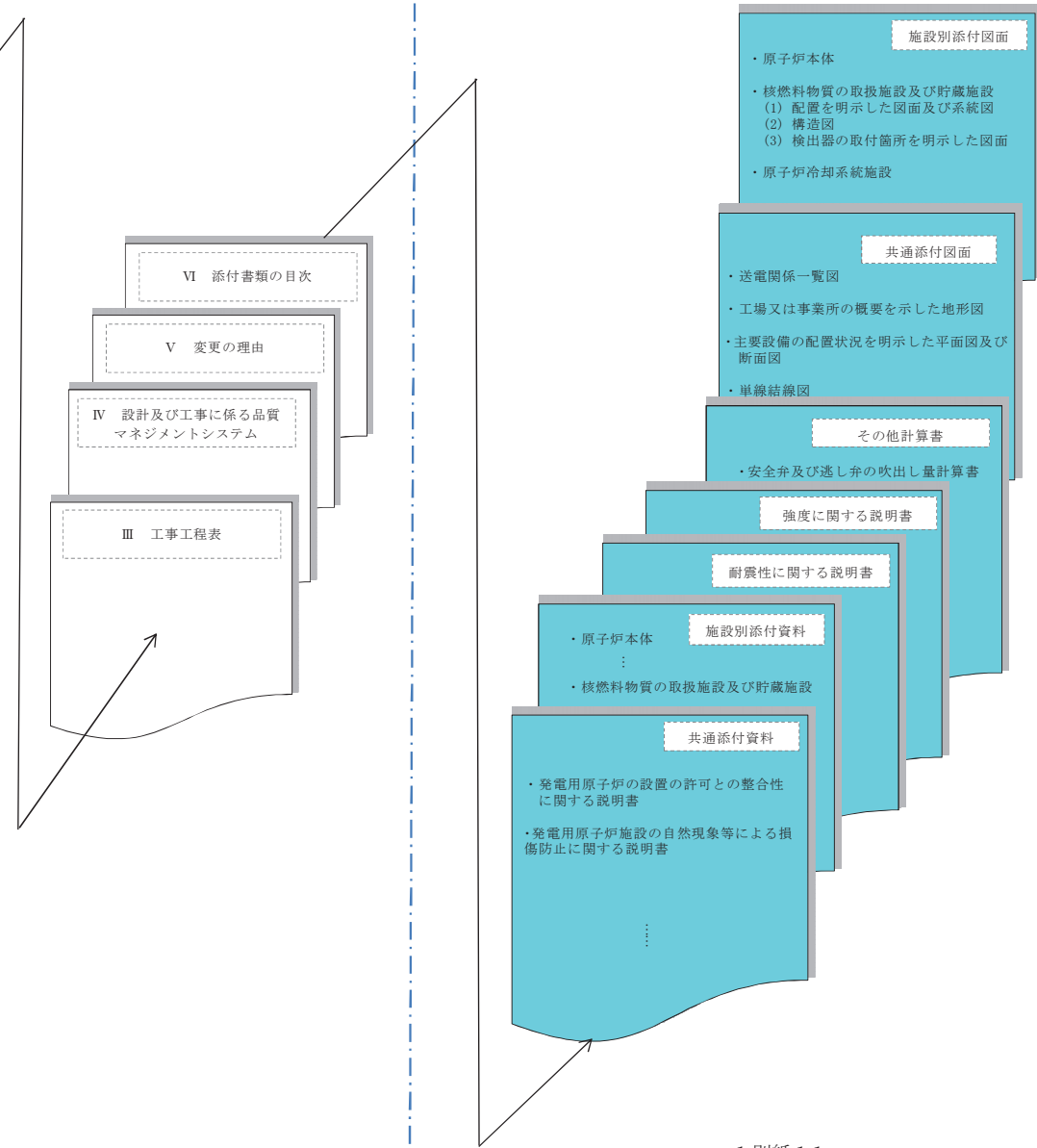
本文記載箇所		記載方針	
2	前頁の 続き	前頁の 続き	<p>に「日本電気協会「原子炉格納容器の漏えい率試験規程（J E A C 4 2 0 3）」の適用に当たって（別記－８）」の要件を付した試験ができること。（「日本電気協会「原子炉格納容器の漏えい率試験規程」（J E A C 4 2 0 3 -2008）に関する技術評価書」（平成21年2月原子力安全・保安院、原子力安全基盤機構取りまとめ））</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>原子炉格納容器を貫通する箇所及び出入口は、想定される漏えい量その他の漏えい試験に影響を与える環境条件として、判定基準に適切な余裕係数を見込み、日本電気協会「原子炉格納容器の漏えい率試験規程」（J E A C 4 2 0 3）に定める漏えい試験のうちB種試験ができる設計とする。</p> <p>（例2）32条解釈1号 …原子炉の設置（変更）許可申請書（以下「設置許可申請書」という。）添付書類八に記載された仕様を満足するとともに、設置（変更）許可申請書における評価条件と比較して非保守的な変更がないこと…</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>非常用炉心冷却設備は、設置（変更）許可を受けた運転時の異常な過渡変化及び設計基準事故の評価条件を満足する設計とする。</p> <p>（例3）42条解釈4号 第42条に規定する「生体遮蔽」及び遮蔽設計の具体的な仕様に関する規定（第2項第3号を除く。）は、日本電気協会「原子力発電所放射線遮へい設計規程」（J E A C 4 6 1 5 -2008）の事故時の遮蔽設計に係る事項を除き、本文及び解説4－5に以下の条件を付したものによること。</p> <p>（1）4. 1. 2の適用に当たっては、「実効線量が1. 3 m S v / 3月間以下となる区域は管理区域外として設定できる。」を除き、…、「超える区域」を「超えるおそれがある区域」…と読み替えるものとする。…</p> <p>（「日本電気協会「原子力発電所放射線遮へい設計規程（J E A C 4 6 1 5 -2008）」に関する技術評価書」（平成23年3月原子力安全・保安院、原子力安全基盤機構取りまとめ））</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>遮蔽設計は、実効線量が1. 3mSv/3月間を超えるおそれがある区域を管理区域としたうえで、日本電気協会「原子力発電所放射線遮へい設計規程（J E A C 4 6 1 5）」の通常運転時の遮へい設計に基づく設計とする。</p>
3	工事の方法	・工事の手順ならびに使用前事業者検査の項目および方法を記載する。	

工事計画認可申請（補正）書の書類構成について

【 申請書（要目表・基本設計方針他）の構成 】



【 添付書類の構成 】



2 工事計画認可申請における要目表の作成要領

1. 目的

新規制基準対応設備のうち、実用炉規則の別表第二において設備別記載事項(以下「要目表」という。)を記載する設備について、記載の統一および一貫性を図ることを目的として要目表の作成要領を策定する。

なお、記載例については、別紙1に示す。

2. 具体的な要目表の作成方法

2.1 資料構成

(1) 要目表の資料構成は以下とする。

- a. 申請対象設備については、実用炉規則の別表第二の記載順に記載する。
- b. 要目表記載対象設備は「申請範囲」^{※1}により対象設備を明確化する。
- c. 要目表は、1設備につき1件とし、複数の設備(系統)区分^{※2}の機能を有する設備であっても要目表は1件とする。

※1：今回の手続き対象外で「記載の適正化のみ」を行う設備は、「申請範囲」に手続き対象外である旨を記載する。

(例) ○○ポンプ(手続き対象外)

※2：設備(系統)区分の記載について、設備名のみで対象が自明の場合は系統名を記載しなくても良い。(以下、各章においても同様。)

2.2 要目表の記載方法

(1) 施設に共通する記載

a. 共用について

(a) 共用する設備の名称についての表記は以下とする。

登録号機	記載方法	記載例
2号機	設備名称のあとに「(第●, ▲号機共用)」を記載する。	△△ポンプ (第1, 2号機共用)
他号機	設備名称のあとに「(第●号機設備, 第●, ▲号機共用)」を記載する。	△△ポンプ (第3号機設備, 第2, 3号機共用)

(別紙1 1/21 : ①, 別紙1 2/21 : ① 参照)

(b) 設計基準対象施設として共用している設備を、重大事故等時に共用しない場合、名称に設計基準対象施設としてのみ共用することを記載する。

例：「燃料プール冷却浄化系ポンプ（設計基準対象施設としてのみ第1,2号機共用）」

(別紙1 3/21：①参照)

(c) 共用に関する記載ルールについて

他号機設備であって2号機共用設備のうち、新たな規制対象となった設備については、他号機の要目表の登録がないことから、登録号機側での仕様が明確となるよう2号機側に設備仕様を併記する。

(d) 他号機所属の共用設備を、今回の手続きにて、2号機のみ共用の取りやめを行う場合は、要目表にてその旨がわかるよう記載し、設備名称を列記する。

所属号機	記載例
1号機	以下の設備は、既存の第1号機設備、第1,2号機共用であり、本工事計画で第1号機設備とする。 ○○設備 ○○設備
3号機	以下の設備は、既存の第3号機設備、第1,2,3号機共用であり、本工事計画で第3号機設備、第1,3号機共用とする。 ○○設備 ○○設備

(別紙1 4/21：①参照)

b. 兼用について

(a) 複数の設備（系統）区分で兼用する設備の記載方針

① 従前の規制より複数の設備（系統）区分の設計基準対象施設として使用しているもの（残留熱除去系ポンプ等）は、従前の規制手続きと同様に主たる機能に着目し、設計基準対象施設として「主たる設備（系統）区分」のみに記載する。

② 新たな規制への対応のために複数の設備（系統）区分の設備として使用する以下のものは、「主となる設備（系統）区分」に加え「兼用先」にも記載する。

・既存の設計基準対象施設を他の設備（系統）区分の設計基準対象施設として新たに兼用するものは設計基準対象施設として「兼用先」に記載する。

・既存の設計基準対象施設を他の設備（系統）区分の重大事故等対処設備として新たに兼用するもの（ほう酸水注入系ポンプ等）は重大事故等対処設備として「兼用先」に記載する。

(別紙1 5/21：①参照)

- ・新たに追加設置した重大事故等対処設備を他の設備（系統）区分の重大事故等対処設備として兼用するもの（大容量送水ポンプ（タイプⅠ）等）は重大事故等対処設備として「兼用先」に記載する。

（別紙 1 6/21 : ① 参照）

(b) 複数の設備（系統）区分で兼用する設備の記載方法

- ① 複数の設備（系統）区分の機能を持つ設備を他の設備（系統）区分の設備として兼用するものは、「主となる設備（系統）区分」に「兼用先」の設備別記載事項を追加し、注記を付記する。

（別紙 1 7/21 : ① 参照）

- ② 「兼用先」への記載は、要目表中に「主となる設備（系統）区分」を記載し、注記にて「兼用すること」および「設備（系統）名称」を付記する。

（5/21 : ② 参照）

- ③ 「新たに登録する場合」の表記として、「本工事計画で」の文章を記載することで新たな登録であることを示す。

（別紙 1 5/21 : ③ 参照）

- ④ 設備（系統）区分によって記載すべき仕様（揚程等）が異なるものについては、その異なる仕様を一つの要目表にまとめて記載する。この場合、複数の仕様が併記されるため、該当する仕様に注記を付記し、対応する設備（系統）区分が明確になるように記載する。

（別紙 1 8/21 : ① 参照）

(c) 「主となる設備（系統）区分」と「兼用先」の要目表の関連付け

- ① 「主となる設備（系統）区分」には、「兼用先」の「設備（系統）区分」がわかるように、また「兼用先」には、「主となる設備（系統）区分」がわかるように記載し、互いの関連付けを行う。

記載は、「主となる設備（系統）区分」の名称欄に注記を付記し、「兼用先」の全ての設備（系統）区分を記載する。これにより、「兼用先」同士の関連性が明らかになるため、「兼用先」では、「主となる設備（系統）区分」のみを記載する。

（別紙 1 5/21 : ②, 別紙 1 8/21 : ②参照）

- ② 「主となる施設区分」と「兼用先」の施設区分が異なる場合は、「施設区分」も含んで記載し、「兼用先」が同一の施設である場合には、「施設区分」の記載は行わない。

(別紙1 9/21 : ① 参照)

- ③ 「兼用する設備(系統)区分」については、別紙2の「要目表 兼用先一覧」に従い兼用先を設定する。

(d) 「主となる設備(系統)区分」と同じ機器区分(容器、管等)が兼用先がない場合

- ① 「兼用先」では異なる機器区分となるが、要目表として記載できる場合は、別紙2「要目表 兼用先一覧表」の「兼用する施設・設備(系統)区分」に従い兼用先を設定し、要目表に記載する。

- ② 「兼用先」で要目表として記載できる機器区分がない場合、要目表には記載せず、兼用先の施設の基本設計方針の「兼用設備リスト」に設備名を記載する。

(e) 情報提供系、サポート系(補機冷却系、換気空調系および電源系)に関しては、施設区分の兼用はしない。

c. 変更前後の書き分け

- (a) 新たな規制への対応のため工事計画の手続きが必要となる設備(以下①～⑦に示す設備)の要目表については、必要な仕様を「変更後」に記載し、「変更前」は「-」を記載する。

この際、既設の設備を変更後に記載する設備は、注記を付記し既設の設備である旨を記載する。この場合、注記を付記する位置については、設備全体が既設である場合は、原則、代表して「名称」欄または対象設備が複数の場合は「変更後」欄に1か所、一部の仕様に変更等がある場合は該当する仕様個別に付記とする。

- ① 重大事故等対処設備として新たに追加設置した設備

(別紙1 9/21 : ② 参照)

- ② 従前の規制では工事計画の手続き対象外であった既設設備を重大事故等対処設備として新たに登録する設備または新たに記載する仕様

(別紙1 10/21 : ① 参照)

- ③ 設計基準対象施設として新たに工事計画の手続き対象となった設備または仕様
(別紙1 11/21 : ① 参照)
- ④ 既設の設計基準対象施設を重大事故等対処設備として新たに登録する際に、
機器クラス区分が変更となることで要求事項（継手仕様等）が追加された設備
(別紙1 10/21 : ⑥ 参照)
- ⑤ 兼用設備として新たに登録する設備または仕様
(別紙1 5/21 : ① 参照)
- ⑥ 既設の設計基準対象施設を重大事故等対処設備として使用する設備のうち、重大事故等対処設備としての使用条件（温度、圧力等）が設計基準対象施設としての設計条件を超える仕様
(別紙1 7/21 : ② 参照)
- ⑥ 改造工事を行う設備（既工事計画書の本文記載事項の変更を伴うもの）
(別紙1 21/21 : ① 参照)
- (b) 従前の規制範囲内での記載の適正化を行う設備の仕様については、「変更前」に記載し「変更後」には「変更なし」を記載する。
(別紙1 3/21 : ② 参照)
- (c) 従前の規制範囲と整合させるために非主配管化する範囲については、「変更前」に既工事計画書の値を記載し、「変更後」を「－」とした上で、注記を付記し「記載の適正化を行う」旨を記載する。
(別紙1 12/21 : ① 参照)
- (d) 重大事故等対処設備として既設の設計基準対象施設を使用する設備については「変更前」に仕様を記載し、「変更後」に「変更なし」と記載する。この場合、当該設備がどちらの機能を有するかの識別は、基本設計方針の「主要設備リスト」で行う。
- (e) 今回の手続き対象外で「記載の適正化のみ」を行う設備は、「変更前」に仕様を記載し、「変更後」に「変更なし」と記載した上で、名称欄に注記を付記し「手続き

対象外」であることを記載する。

また、「申請範囲」に手続き対象外であることを記載する。

(例) ○○ポンプ（手続き対象外）

(f) 今回の手続きに関与しない設備については、要目表の記載の適正化は行わない。

(g) 記載の適正化として「変更前」に記載する際に、建設時の工事計画書等を出典として記載する場合において、既工事計画書本文に記載がないため添付書類または添付図面を出典とする場合は、その添付書類または添付図面が添付されている既工事計画認可申請書の「認可年月日」、「認可番号」および「添付書類または添付図面の名称」を記載する。

なお、既工事計画書の参考資料については、出典として使用しないこととする。

例：注記*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。
記載内容は、平成○○年○○月○○日付け○○資庁第○○○○号にて認可された工事計画の○○による。

(別紙1 7/21：③ 参照)

(h) 既工事計画書本文の記載事項の記載の適正化を行う場合は、これらの許認可情報は記載せず、「既工事計画書」の記載を注記に記載する。

例：注記*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「○○」と記載。

(別紙1 3/21：③ 参照)

(i) 既工事計画書に設備自体の記載がないものを「変更前」に記載する場合は、「名称」欄または「変更前」欄に注記を付記し、その設備仕様一式そのものが既工事計画書に記載がないことを示す。

(別紙1 10/21：② 参照)

(j) 既工事計画書に記載された主配管の「区間」において「○○ポンプから△△配管合流部まで」などと記載されている場合は「○○ポンプ～△△配管合流部」と記載を修正する。ただし、「区間」の範囲の見直しを伴わない修正である場合は注記を付記しない。

例：○○ポンプから△△配管合流部まで
↓
○○ポンプ～△△配管合流部

(k) 工事計画書に記載のある機器等を廃止手続きする際の記載については、「変更後」に、「撤去」または「廃止」を記載する。なお、改造にあたって別表第一対象外のポンプは変更後に「-」を記し、注記を付記する。

- ・「撤去」と記載する場合：今回の申請において機器等の撤去を行うもの。
- ・「廃止」と記載する場合：今回の申請においては、機器等の撤去は行わず、廃止手続きを行うもの。

(別紙1 4/21 : ② 参照)

(1) 別表第一に該当する取替対象設備については、「変更後」に取替えを実施する旨を注記に記載する。

d. 同じ設備区分で同一機器を異なる用途で使用する場合の記載について

計測制御系統施設の原子炉非常停止信号及び工学的安全施設等の起動信号に記載される検出器のように、異なる用途に対し同一の検出器を使用する場合は兼用とはならないが、使用する全ての用途が明確となるよう、注記を付記し、互いの関連付けを行う。

(別紙1 20/21 : ① 参照)

e. 重大事故等対処設備としての使用時における値について

(a) 既設の設計基準対象施設を重大事故等対処設備として使用する設備のうち、重大事故等対処設備としての使用条件（温度、圧力）が設計基準対象施設としての設計条件を超える設備については、その超える部分の仕様を「変更後」に記載する。

この際、上段を設計基準対象施設としての値、下段を重大事故等対処設備としての使用時における値とし、注記を付記して「重大事故等時における使用時の値」である旨を記載する。

(別紙1 7/21 : ② 参照)

(b) 重大事故等対処設備としてのみ使用する設備については、「最高使用圧力」および「最高使用温度」（ポンプ等については「容量」、「揚程」も含む）の項目欄に注記を付して「重大事故等時における使用時の値」である旨を記載する。

(別紙1 9/21 : ③ 参照)

また、既設の設計基準対象施設を重大事故等対処設備として新たに登録する際に、機器クラス区分が変更になることで、記載が追加された管継手についても重大事故等対処設備としてのみ使用する設備として、「最高使用圧力」および「最高使用温度」の項目欄に注記を付して「重大事故等時における使用時の値」である旨を

記載する。

(別紙 1 10/21 : ③ 参照)

f. 設計確認値

- (a) ポンプ、熱交換器、容器等の容量、熱交換器等の伝熱面積および J I S 配管を除く配管等の厚さについては「設計確認値」および「公称値」を記載する。ただし、設計図書等にて「設計確認値」が明記されていない場合は、「公称値」と同一値を記載する。

また、従来、「設計確認値」のみを記載していたものについては、原則、同一の値を「公称値」として記載する。

ただし、安全弁・逃がし弁のリフト量、主要弁の弁箱厚さおよび弁蓋厚さ等の機器仕様上の最小値を記載している場合は「設計確認値」のみ記載する。

(別紙 1 10/21 : ④, 別紙 1 14/21 : ① 参照)

- (b) 「設計確認値」および「公称値」を併記する場合は、「設計確認値」の後に括弧を付して「公称値」を記載し、注記を付して「公称値」である旨を記載する。

(別紙 1 12/21 : ② 参照)

g. 材料記号の記載

- (a) J I S 規格に基づく材料記号の記載（施設時の J I S 規格に基づく材料記号を記載する。）

① 設備の施設以降に、J I S 規格改定により材料記号が変更されたものであっても、今回の申請において施設時の J I S 材料記号を記載する。

② 既設設備の一部に最新の J I S 規格が使用されたものは、今回の申請において施設時の J I S 材料記号と最新の J I S 材料記号をそれぞれ記載する。

(別紙 1 13/21 : ① 参照)

- (b) J I S 規格以外を使用する材料記号の記載

① 企業のプライベート規格を使用している一般産業品については、使用している材料を総称する一般名を記載する。

(別紙 1 15/21 : ①参照)

h. 個数

- (a) 可搬型設備のうち技術基準規則上、予備を必要とする設備については、括弧外に必要な数を記載し、括弧内に予備数を併記する。

なお、可搬型の主配管については、後述の「(2) 個別設備の記載, b. 個別事項(配管) , (c) 可搬型主配管」に示す。

i. 取付箇所

(a) 常設設備（可搬型設備のうち一部常設箇所を有する設備を含む。）の取付箇所については「系統名（ライン名）」、「設置床」、「溢水防護上の区画番号」および「溢水防護上の配慮が必要な高さ」を記載する。

① 「属する系統の機能の独立性」の確認のため、要目表へ「系統名（ライン名）」を記載し、「系統図」との関連付けを行う。ポンプA、Bや弁A、B、C等の複数機器を1件の要目表に記載する場合には、その機器毎に「系統名（ライン名）」を記載する。

なお、系統に接続されない機器（クレーン等）は「－」とする。

（詳細は別紙3参照）

② 「位置的分散」の確認のため、要目表へ「設置床」を記載し、「配置図」との関連付けを行う。記載欄には「建屋名称」および機器等の「設置床レベル」を記載する。

（詳細は別紙3参照）

③ 「発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書」の「防護対象設備リスト」および「防護区画図面」との関連付けを行うため、要目表へ「溢水防護上の区画番号」を記載する。新規要求事項であるため「変更後」の欄に記載する。

なお、溢水防護の対象設備以外の機器は「－」とする。

（詳細は別紙3参照）

④ 溢水防護上の配慮が必要となる機器等について、その機器が設置される区画のうち、機能喪失高さが最も低いものを選定した上で、要目表へ「溢水防護上の配慮が必要な高さ」として記載する。なお、裕度についてはこの機能喪失高さに含むものとする。この「溢水防護上の配慮が必要な高さ」についても、新規要求事項であるため「変更後」の欄に記載する。なお、溢水防護の対象設備以外の機器は「－」とする。

（詳細は別紙3参照）

(b) 可搬型設備の取付箇所については、「保管場所」および「取付箇所」を記載する。

① 屋外の可搬型設備の「保管場所」は、保管場所の設置床高さおよび保管場所が特定可能な記載とする。この場合、移動可能な設備であることを考慮し設置床高さには「約」を付記する。なお、設置床高さの表記方法については、設置変更許可申請

書に準じる。

(別紙1 9/21 : ④ 参照)

- ② 屋外の可搬型設備の「取付箇所」は、取付箇所の設置床高さおよび取付箇所が特定可能な記載とする。この場合、移動可能な設備の設置であることを考慮し、「取付箇所」に記載する高さには「約」を記載する。

(別紙1 9/21 : ⑤ 参照)

- ③ 可搬型設備のうち一部常設箇所を有する設備については、一部常設箇所の「溢水防護上の配慮が必要な高さ」を記載し、その旨が分かるよう注記を付記する。

- ④ 可搬型ホースについて、複数の敷設ルートがある場合には、敷設距離が最長となるルートについて注記で記載する。また、複数の長さのホースを組み合わせで使用する場合は、その内訳を注記で記載する。

(詳細は別紙4 参照)

j. S I 単位換算

- (a) 既工事計画書に記載がある設備のうち、S I 単位で記載されていないものについては、S I 単位に換算した値を「変更前」に記載し、注記を付して「S I 単位に換算した」旨を記載する。

(別紙1 10/21 : ⑥ 参照)

k. 使用前検査未完了の工事

- (a) 新規制施行前に工事計画の認可または届出した工事のうち、使用前検査に合格していないもので、今回の一体工事として手続きするものについては、「基本設計方針の変更の工事」として扱う。この場合、「変更前」に認可または届出後の仕様を記載し、注記で基本設計方針の変更である旨の記載を行う。

【例】認可を受けた工事

注記*1 : 記載内容は、既工事計画認可申請書（平成〇〇年〇〇月〇〇日付け東北電原〇発〇〇第〇〇〇号工事計画認可申請書, 平成〇〇年〇〇月〇〇日付け平成〇〇・〇〇・〇〇原第〇〇号にて認可）による。なお、本工事計画は認可された工事計画に対して、基本設計方針の変更を行うことに伴い申請するものである。

(別紙 1 16/21 : ① 参照)

- (b) 今回の一体工事として手続きしないものについては、別途、「工事計画」の「変更認可申請」、「変更届出」等の手続きを行う。そのため、これらに係る設備のうち今回の一体工事の手続きとして必要となるものは、要目表の「変更前」部分に「既に認可を受けた」工事計画の「変更前」の部分を記載するものとする。その場合において注記は記載しない。

1. 防護上の配慮が必要な設備

- (a) 耐震基準変更に伴う耐震Sクラス設備、共振の影響を受ける耐震Bクラス設備、溢水防護上の配慮が必要となる防護対象設備、竜巻、火山または外部火災等における防護対象であって別表第二の要目表対象設備の場合は、基準変更対応としての手続き対象設備として要目表に記載する。

m. 機能および使用方法が同じ設備を複数台保有する場合の名称

- (a) 原子炉再循環ポンプや主蒸気逃がし安全弁等、機能および使用方法が同じ設備を複数保有する場合の名称は、「A」、「B」、「C」等の個体識別を記載せず、設備名称のみ記載する。

例：保有設備「復水移送ポンプ A, B, C」

↓

要目表記載名称「復水移送ポンプ」

- (b) 弁については弁番号で記載することとし、個体識別を付記した設備名称を記載する。なお、機能および使用方法が同じ設備についてはまとめて記載する。

例：要目表記載名称「B21 - F002A, B, C, D」

- n. 竜巻、内部溢水評価等の制約により「分散配置」を必要とする設備については、要目表の取付箇所(保管場所)欄に分散して保管する旨を記載する。(大容量送水ポンプ(タイプ I)等)

(別紙 1 9/21 : ⑥ 参照)

(2) 個別設備の記載

a. 個別事項(機器)

(a) 工学的安全施設等の作動設定値において、既設の検出器を重大事故等対処設備として兼用し、ロジック回路のみ新たに構成する場合については、「変更前」を「－」とし、「変更後」に設備仕様を記載する。この場合、検出器は既設であることおよび原子炉非常停止信号の検出器と兼用であることを注記する。

(b) 非常用電源設備以外のポンプ車等に付属するポンプ駆動用の燃料タンク（車付タンク）については、補機駆動用燃料設備に記載する。また、ディーゼル機関を駆動源とする消火ポンプの燃料タンクも同様とする。

(c) 「別表第二」記載事項のうち計測制御系統施設及び放射線管理施設に記載されている「警報装置を有する場合は、その動作範囲を付記すること。」については、設計基準対象施設、重大事故等対処設備ともに技術基準規則で要求されている計測装置のみ適用し、警報動作を適用しない設備については、「－」とする。なお、既工事計画書の記載の適正化を行う場合は、注記を付記して、警報動作を適用しない旨を記載する。

(d) 静的触媒式水素再結合器の再結合率の値として、評価式により算出した値を記載するが、この記載値は代表点での値となるため、その旨を注記で記載する。

(別紙 1 17/21 : ① 参照)

(e) 中央制御室および緊急時対策所の居住性評価において考慮する生体遮蔽装置について

中央制御室および緊急時対策所の居住性評価において解析上遮蔽として考慮する壁等については、「中央制御室遮蔽」、「中央制御室待避所遮蔽」、「二次遮蔽」、「補助遮蔽」または「緊急時対策所遮蔽」として記載する。

(f) 津波の影響を考慮する機器は、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さである旨、注記で記載する。

例：「防潮堤の天端高さ」

(g) 申請号機以外の号機に設置される設備で、新たに規制対象となった設備については、2号機設備として登録し仕様を記載する。

例：「防潮壁（第3号機海水熱交換器建屋）」

b. 個別事項(配管)

(a) 要目表名称

主配管については用途，使用範囲等の明確化のため，以下の範囲で名称を細分化する。

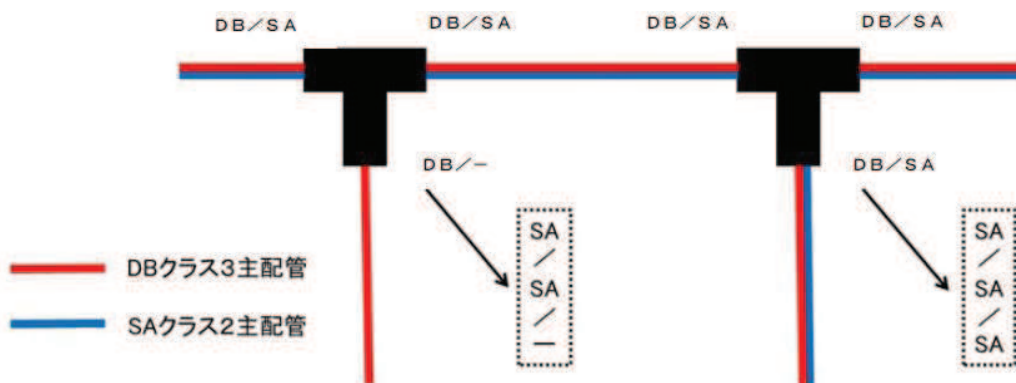
- ① 設計基準対象施設のみの境界
- ② 重大事故等対処設備のみの境界
- ③ 重大事故等対処設備として既設の設計基準対象施設を使用するもので，設計基準対象施設としての仕様から変更がない境界
- ④ 重大事故等対処設備として既設の設計基準対象施設を使用するもので，設計基準対象施設としての仕様から変更がある境界
- ⑤ 兼用設備の境界
- ⑥ 耐震重要度分類Sクラスの境界
- ⑦ 主配管と非主配管の境界
- ⑧ 共用設備の号機間の境界
- ⑨ 設計基準対象施設および重大事故等対処設備の境界

(b) 管継手

- ① 既設の設計基準対象施設を重大事故等対処設備として新たに登録する際に，機器クラス区分が変更になることで，記載が追加された管継手は「変更前」を「-」とし，「変更後」に管継手の仕様を記載し，注記で「既設」である旨を記載する。

(別紙1 10/21 : ⑥ 参照)

また，上記のうち「T継手」については，重大事故等時に使用する流路に対して仕様を記載する。すなわち，T継手の分岐部が設計基準対象施設上は主配管であっても，当該分岐部が重大事故等時に使用しない流路である場合は，当該T継手の分岐部は「-」とする。



- ② 既設の設計基準対象施設のクラス2配管の管継手に関しては、既工事計画書に記載されていないもので新規制においても主配管に該当する場合は、記載の適正化として「変更前」に管継手を追記し、その旨を注記で記載する。

(別紙1 18/21 : ① 参照)

(c) 可搬型主配管

- ① 可搬型主配管のうち、可搬型ホースについては、接続する箇所が分かるような名称にするとともに、ホース1本当たりの長さを名称へ記載する。

(例) ○○ライン△△用□□mホース

(別紙1 19/21 : ① 参照)

- ② 外径が記載できない可搬型主配管の外径については、呼び径を記載し、その旨を注記する。

(別紙1 19/21 : ② 参照)

- ③ 厚さが記載できない可搬型主配管の厚さは「—」を記載し、その旨を注記する。

注記 *1: メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

(別紙1 19/21 : ③ 参照)

・非常用発電装置の常設ホースの記載は、以下とする。

注記 *1: メーカー仕様によるものとし、「発電用火力設備に関する技術基準を定める省令」に基づき、規定の圧力まで昇圧した後、適切な時間保持したとき、これに耐え、また規定の圧力で点検を行ったとき、漏えいがないものを使用する。

- ④ 可搬型主配管の「個数」および「取付箇所」欄の記載について
可搬型主配管の「個数」欄および「取付箇所」欄への記載方法を、別紙4に示す。
なお、詳細な個数の内訳は「設備別記載事項の設定根拠に関する説明書」に記載する。

3. 別紙

別紙1: 要目表作成例

別紙2: 要目表 兼用先一覧

別紙3: 要目表記載のうち機器等の取付箇所の記載方針について

別紙 4：可搬型主配管の要目表に記載する「個数」の記載方法と「個数」および「取付箇所」に注記を記載する際の基本的な記載ルールについて

要目表作成例

2. 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

2.1 燃料取扱設備

(1) 新燃料又は使用済燃料を取り扱う機器

①の例

			変更前	変更後
名 称			燃料交換機 (第1, 2号機共用) *1	変更なし
種 類		—	燃料つかみ具付移床式	
容 量	燃 料 つ か み 具	kg	460 (×1台)	
	補 助 ホ イ ス ト	kg	500 (×2台)	
主 要 寸 法	走 行 レ ー ル 間 距 離	mm	□ *2, *3	
	構 造 物 フ レ ー ム (ブ リ ッ ジ) 幅	mm	□ *2, *4	
	高 さ	mm	□ *2, *4	
	構 造 物 フ レ ー ム (ブ リ ッ ジ) 高 さ	mm	□ *2, *4	
材 料	ブ リ ッ ジ	—	SS400 *4	
個 数		—	1 *4	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	—	
	設 置 床	—	原子炉建屋 O.P. 33.20m *4	
	溢水防護上の区画番号	—	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	

注記 *1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料交換機」と記載。

*2 : 公称値を示す。

*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年1月13日付け3資庁第10518号にて認可された工事計画書の添付書類「第8-1-1図 燃料交換機構造図」による。

*4 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

5.2.3 固体廃棄物処理系
 5.2.3.1 サイトバンカ設備
 (10) 主配管

①の例

変更前							変更後				
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
サイトバンカ設備	サイトバンカ貯蔵プール ～ スキマサージタンク (第1号機設備, 第1, 2, 3号機共用)	静水頭	66	114.3	(6.0)	SUS304TP	サイトバンカ設備	変更なし			
	スキマサージタンク ～ プール循環水ポンプ (第1号機設備, 第1, 2, 3号機共用)	静水頭	66	89.1	(5.5)	SUS304TP					
		0.98*3	66	89.1	(5.5)						
	プール水循環ポンプ ～ プール水ろ過器 (第1号機設備, 第1, 2, 3号機共用)	0.98*3	66	48.6	(3.7)	SUS304TP					
76.3				(5.2)							
プール水ろ過器 ～ サイトバンカ貯蔵プール (第1号機設備, 第1, 2, 3号機共用)	0.98*3	66	48.6	(3.7)	SUS304TP						

注記*1 : 外径は公称値を示す。

*2 : ()内は公称値を示す。

*3 : S I 単位に換算したものである。

(2) ポンプ (常設)

			変更前	変更後	
ポンプ	名 称		燃料プール冷却浄化系ポンプ (第1,2号機共用) うず巻形	燃料プール冷却浄化系ポンプ (設計基準対象施設としてのみ第1,2号機共用)	
	種 類	—			
	容 量 ^{*2}	m ³ /h/個	□以上 ^{*3} (160 ^{*4})		
	揚 程 ^{*5}	m	□以上 ^{*3} (80 ^{*4})		
	最 高 使 用 圧 力	MPa	1.37 ^{*3}		
	最 高 使 用 温 度	℃	66 ^{*3}		
	主 要 寸 法	吸 込 内 径	mm	151.0 ^{*3,*4}	
		吐 出 内 径	mm	102.3 ^{*3,*4}	
		ケーシング厚さ	mm	□ ^{*3} (14 ^{*3,*4})	
		た て 横	mm	560 ^{*3,*4}	
	材 料	高 さ	mm	895 ^{*3,*4}	
		高 さ	mm	855 ^{*4,*6}	
	個 数	ケーシング	—	□	
		ケーシングカバー	—	□ ^{*3}	
	取 付 箇 所	個 数	—	2	
		系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	燃料プール冷却浄化系ポンプ 燃料プール冷却浄化系	
		設 置 床	—	原子炉建屋 O.P. 15.00m	
		溢水防護上の区画番号	—		R-1F-3
原 動 機	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—		床上 0.10m以上	
	種 類	—	誘導電動機		
原 動 機	出 力	kW/個	75	変更なし	
	個 数	—	2		
	取 付 箇 所	—	ポンプと同じ ^{*3}	ポンプと同じ	

注記*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料プール冷却浄化系ポンプ」と記載。

*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「定格容量」と記載。

*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4 : 公称値を示す。

*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「定格揚程」と記載。

*6 : 既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年1月13日付け3資庁第10518号にて認可された工事計画の添付書類「第8-4-4図 燃料プール冷却浄化系ポンプ構造図」による。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(4) 容器 (常設)

			変更前	変更後								
名称			サプレッションプール水貯蔵タンク (第 1, 2 号機共用)									
種	類	—	たて置円筒形									
容	量	m ³ /個	1000* ¹									
最	高	使用	圧	力	MPa* ²	静水頭						
最	高	使用	温	度	℃	66						
主 要 寸 法	胴	内	径	mm	11600* ¹							
	胴	板	厚	さ	mm	6.0, 9.0, 10.0, 12.0 * ¹						
	底	板	厚	さ	mm	12.0* ¹						
	平	板	(屋	根)	厚	さ	mm	9* ³		
	入	口	管	台	外	径	mm	114.3* ¹ , * ⁵				
	入	口	管	台	厚	さ	mm	□ * ⁵ (6.0* ¹ , * ⁵)				
	出	口	管	台	外	径	mm	114.3* ¹ , * ⁵				
	出	口	管	台	厚	さ	mm	□ * ⁵ (6.0* ¹ , * ⁵)				
	側	マ	ン	ホ	ール	外	径	mm	609.6* ¹ , * ⁵			
	側	マ	ン	ホ	ール	管	台	厚	さ	mm	□ * ⁵ (12.0* ¹ , * ⁵)	
	側	マ	ン	ホ	ール	平	板	厚	さ	mm	□ * ⁵ (13.00* ¹ , * ⁵)	
	高	さ	* ⁴	mm	11282* ¹							
材 料	胴	板	—	SS41								
	底	板	—	SS41								
	平	板	(屋	根)	—	SS41* ³				
	側	マ	ン	ホ	ール	平	板	—	SS41* ⁵			
個	数	—	1									
漏えい防止のための制御方法* ⁶			—	液位高による受入自動停止回路								

②の例
撤去

注記*1 : 公称値を示す。

*2 : S I 単位に換算したものである。

*3 : 既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。

*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。

*5 : 既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、平成 3 年 1 月 24 日付 2 資庁第 10151 号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-1-3-7 サプレッションプール水貯蔵タンクの強度計算書」による。

*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御方法」と記載。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

以下の設備は、既存の第 1 号機設備、第 1, 2 号機共用であり、本工事計画で第 1 号機設備とする。

サプレッションプール水貯蔵タンク (第 1 号機設備)

①の例

3.6.5 低圧代替注水系
 (1) ポンプ (常設)

①の例

【5/21】

	変更前	変更後
名 称	—	復水移送ポンプ*
3. 原子炉冷却系統施設 3.7 原子炉冷却材補給設備 3.7.2 補給水系 (1) ポンプ ← ②の例 に記載する。		

注記* : 本設備は、既存の原子炉冷却材補給設備 (補給水系) であり、非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 (低圧代替注水系) として本工事計画で兼用とする。

③の例

①の例

(1) ポンプ (可搬型)

	変更前	変更後
名 称	—	大容量送水ポンプ (タイプ I) *
2. 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 2.4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 2.4.2 燃料プール代替注水系 (2) ポンプ (可搬型) に記載する。		

注記* : 本設備は、核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 (燃料プール代替注水系) であり、非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 (低圧代替注水系) として本工事計画で兼用とする。

①の例

1.7 原子炉圧力容器

(1) 原子炉圧力容器本体及び監視試験片

②の例

①の例

			変更前	変更後		
名	称		原子炉圧力容器	原子炉圧力容器*1		
種	類	—	たて置円筒形	変更なし		
最	高	使用圧力	MPa	変更なし		
			[]*2	[]*3,*4		
最	高	使用温度	℃	変更なし		
			302	315*3,*4		
主 要 寸 法	胴	内径	mm	[]*5 (母材内径)	変更なし	
		高さ*6	mm	[]*5 (ベントノズル端よりスカート下まで)		
		上部鏡板内半径	mm	[]*5,*7		
		下部鏡板内半径	mm	[]*5,*8		
	*9 厚さ	胴板*10		mm		[]*11 ([]*5,*12)
			上部鏡板	mm		[]*13 ([]*5,*12)
		下部鏡板	リング部*14	mm		[]*11 ([]*5,*12)
			ドーム部*14	mm		[]*15 ([]*5,*12)
	管台・ノズルセーフエンド	再循環水 出口ノズル (N1)	管台内径	mm		[]*5,*16
			管台厚さ	mm		[]*16 ([]*5,*12)
			セーフエンド内径	mm		[]*5,*16
			セーフエンド厚さ	mm		[]*16 ([]*5,*12)
		再循環水 入口ノズル (N2)	管台内径	mm		[]*5,*17
			管台厚さ	mm		[]*17 ([]*5,*12)
			セーフエンド内径	mm		[]*5,*17
			セーフエンド厚さ	mm		[]*17 ([]*5,*12)
		主蒸気 出口ノズル (N3)	管台内径	mm		[]*5,*18
			管台厚さ	mm		[]*18 ([]*5,*12)
			セーフエンド内径	mm		[]*5,*18
			セーフエンド厚さ	mm		[]*18 ([]*5,*12)

(次頁へ続く)

【略】

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(前頁からの続き)

			変更前	変更後
監視試験片	種類	—	□*12	変更なし
	初装荷个数	—	□*12	
	取付箇所	—	□*12	

注記*1 : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）及び非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高压炉心スプレイ系，低压炉心スプレイ系，高压代替注水系，原子炉隔離時冷却系，低压代替注水系，代替循環冷却系，ほう酸水注入系，残留熱除去系），計測制御系統施設のうちほう酸水注入設備（ほう酸水注入系），原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（代替循環冷却系，高压代替注水系，低压代替注水系，ほう酸水注入系）と兼用。

*2 : S I 単位に換算したものである。

*3 : 重大事故等時における使用時の値。

*4 : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）及び非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高压炉心スプレイ系，低压炉心スプレイ系，高压代替注水系，原子炉隔離時冷却系，低压代替注水系，代替循環冷却系，ほう酸水注入系，残留熱除去系），計測制御系統施設のうちほう酸水注入設備（ほう酸水注入系），原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（代替循環冷却系，高压代替注水系，低压代替注水系，ほう酸水注入系）に使用する場合は記載事項。

*5 : 公称値を示す。

*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。

*7 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，平成 4 年 1 月 13 日付け 3 資庁第 10518 号にて認可された工事計画書の添付書類「IV-3-1-1-4 上部鏡板，鏡板フランジ及び胴板フランジの応力計算書」による。

*8 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，平成 4 年 1 月 13 日付け 3 資庁第 10518 号にて認可された工事計画書の添付書類「IV-3-1-1-5 下部鏡板の応力計算書」による。

*9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「板厚」と記載。

*10 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「円筒部」と記載。

*11 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には □(最小) と記載。

*12 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

*13 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には □(最小) と記載。

*14 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「下部鏡板」と記載。

*15 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には □(最小) と記載。

*16 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，平成 4 年 1 月 13 日付け 3 資庁第 10518 号にて認可された工事計画書の添付書類「IV-3-1-1-8 再循環水出口ノズル(N1)の応力計算書」による。

*17 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，平成 4 年 1 月 13 日付け 3 資庁第 10518 号にて認可された工事計画書の添付書類「IV-3-1-1-9 再循環水入口ノズル(N2)の応力計算書」による。

*18 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，平成 4 年 1 月 13 日付け 3 資庁第 10518 号にて認可された工事計画書の添付書類「IV-3-1-1-10 主蒸気出口ノズル(N3)の応力計算書」による。

【略】

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

3.7.2 補給水系

(1) ポンプ

			変更前	変更後	
名 称			復水移送ポンプ	復水移送ポンプ*1	
ポ ン プ	種 類	—	うず巻形	変更なし	
	容 量*2	m ³ /h/個	□以上*3 (100*4)	□以上*5, □以上*6, □以上*7, 70 以上*8, 50 以上*9	
	揚 程*10	m	□以上*3 (85*4)	□以上*5, □以上*6, □以上*7, □以上*8, 88.9 以上*9	
	最 高 使 用 圧 力	MPa	1.37*3	変更なし	
	最 高 使 用 温 度	℃	66*3		
	主 要 寸 法	吸 込 内 径	mm		150*3,*4
		吐 出 内 径	mm		100*3,*4
		ケーシング厚さ	mm		□
		た て	mm		180*3,*4
		横	mm		770*3,*4
		高 さ	mm		725*4,*11
	材 料	ケーシング	—		SC49
		ケーシングカバー	—		□*3
	個 数	—	3		
	*12 取 付 箇 所	系 統 名 (ライン名)	—		復水移送ポンプ 補給水系*3
設 置 床		—	原子炉建屋 O.P. -0.80m*3		
溢水防護上の 区画番号		—	—		R-B2F-5
溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—	床上 0.10m以上	
原 動 機	種 類	—	誘導電動機	変更なし	
	出 力	kW/個	45		
	個 数	—	3		
	取 付 箇 所	—	ポンプと同じ*3	ポンプと同じ	

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注記*1 : 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧代替注水系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器下部注水系，原子炉格納容器代替スプレイ冷却系，低圧代替注水系）と兼用。

②の例

*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「定格容量」と記載。

*3 : 既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

*4 : 公称値を示す。

*5 : 重大事故等時における，非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧代替注水系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（低圧代替注水系）で使用する場合の値（ポンプ1台運転時）。

*6 : 重大事故等時における，非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧代替注水系）で使用する場合の値（ポンプ2台運転時）。

*7 : 重大事故等時における，原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器代替スプレイ冷却系）で使用する場合の値（ポンプ2台運転時）。

*8 : 重大事故等時における，原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器下部注水系）で使用する場合の値（事前水張り：ポンプ1台運転時）。

*9 : 重大事故等時における，原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器下部注水系）で使用する場合の値（熔融炉心冷却：ポンプ1台運転時）。

*10 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「定格揚程」と記載。

*11 : 既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，平成4年4月3日付け4資庁第1992号にて認可された工事計画の添付書類「第2-2-3図 復水移送ポンプ構造図」による。

*12 : 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備で使用する場合の記載事項。

①の例

2.4.2 燃料プール代替注水系
(2) ポンプ (可搬型)

			変更前	変 更 後	
名 称				大容量送水ポンプ (タイプ I) *1	
ポ ン プ	種 類	—		うず巻型	
	容 量*2	m ³ /h/個		114 以上*3 126 以上*4 10 以上*5 199 以上*6 150 以上*7 1200 以上*8 50 以上*9 88 以上*10 (1440*11)	
				42.1 以上*3 116.1 以上*4 21.6 以上*5 117.8 以上*6 30.8 以上*7 94.8 以上*8 98.8 以上*9 95 以上*10 (122*11)	
	揚 程*2	m		1.0*12 1.2*13, *14	
	最 高 使 用 圧 力*2	MPa	—	50	
	最 高 使 用 温 度*2	℃		300*11	
	主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm		250*11
		吐 出 口 径	mm		1050*11
		た て	mm		1280*11
		横	mm		525*11
		高 さ	mm		12750*11
		車 両 全 長	mm		2495*11
		車 両 全 幅	mm		3510*11
	車 両 高 さ	mm			
材 料	ケ ー シ ン グ	—		ダクタイル鋳鉄	
個 数	—			4 (予備 1)	
取 付 箇 所	—			保管場所 : ・ 第 1 保管エリア 屋外 O.P. 約 62m ・ 第 2 保管エリア 屋外 O.P. 約 62m ・ 第 3 保管エリア 屋外 O.P. 約 14.8m	

①の例

③の例

②の例

④の例

(次頁へ続く)

(前頁からの続き)

			変更前	変更後		
原 動 機	種	類	—	ディーゼルエンジン		
	出	力	kW/個	847		
	個	数	—	ポンプと同じ		
	取	付	箇	所	—	
ポ ン プ	取	付	箇	所	—	<ul style="list-style-type: none"> ・第4保管エリア 屋外 O.P. 約 62m <p>予備を含めた5個を第1保管エリアに1個, 第2保管エリアに1個, 第3保管エリアに2個及び第4保管エリアに1個保管する。</p> <p>取付箇所: ⑤の例 ⑥の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外 O.P. 約 62m 淡水貯水槽 (No.1) 及び淡水貯水槽 (No.2) 付近^{*15} ・屋外 O.P. 約 14.8m 海水ポンプ室 付近^{*16} ・屋外 O.P. 約 3.5m 取水口付近^{*16}

注記*1 : 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 (燃料プールのプレイ系), 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備 (原子炉格納容器フィルタベント系), 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 (低圧代替注水系, 代替水源移送系) 及び原子炉補機冷却設備 (原子炉補機代替冷却水系) 並びに原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備 (原子炉格納容器下部注水系, 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系, 低圧代替注水系), 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 (原子炉格納容器フィルタベント系) 及び圧力逃がし装置 (原子炉格納容器フィルタベント系) と兼用。

①の例

③の例

- *2 : 重大事故等時における使用時の値。
- *3 : 本システムで使用する場合の値を示す。
- *4 : 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 (燃料プールのプレイ系) で使用する場合の値を示す。
- *5 : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備 (原子炉格納容器フィルタベント系) 並びに原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 (原子炉格納容器フィルタベント系) 及び圧力逃がし装置 (原子炉格納容器フィルタベント系) で使用する場合の値を示す。
- *6 : 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 (低圧代替注水系) 及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備 (低圧代替注水系) で使用する場合の値を示す。
- *7 : 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 (代替水源移送系) で使用する場合の値を示す。
- *8 : 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備 (原子炉補機代替冷却水系) で使用する場合の値を示す。
- *9 : 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備 (原子炉格納容器下部注水系) で使用する場合の値を示す。
- *10 : 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備 (原子炉格納容器代替スプレイ冷却系) で使用する場合の値を示す。

【略】

(8) 主配管 (スプレイヘッドを含む。) (常設)

④の例

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
燃料プール冷却浄化系 スキマサージタンク ～ 燃料プール冷却浄化系ポンプ (第1,2号機共用)	静水頭	66	267.4	(9.3)	SUS304TP	変更なし					
	—					③の例					
						静水頭*5	66*5	*5,*6,*7	*5,*6,*7	*5,*6,*7	SUS304TP
								*5,*6	*5,*6	*5,*6	SUS304TP*5,*6
								—	—	—	—
	静水頭	66	267.4	(9.3)	STS410*3	変更なし					
	—					静水頭*5	66*5	*5,*6	*5,*6	*5,*6	STS410*5,*6
								—	—	—	—
1.37*4	66	267.4	(9.3)	STS410*3	変更なし						
—					1.37*5	66*5	*5,*6	*5,*6	*5,*6	STS410*5,*6	
							—	—	—	—	
							*5,*6	*5,*6	*5,*6	STS410*5,*6	
1.37*4	66	165.2	(7.1)	STS410*3	変更なし						
—					1.37*5	66*5	*5,*6	*5,*6	*5,*6	STS410*5,*6	
							—	—	—	—	

【略】

変更前						変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	
燃料プール冷却浄化系	*11 G41-F017 ～ 使用済燃料プール (第1,2号機共用)	1.37*4	66	216.3	(8.2)	SUS304TP	燃料プール冷却浄化系	1.37*5	66*5	変更なし		
		—			216.3	(8.2)				SUS304TP		
		—			216.3	(8.2)				SUS304TP*5,*6		
		—			216.3	(8.2)				SUS304TP*5,*6		
		—			216.3	(8.2)				SUS304TP*5,*6		
		1.37*4	66	165.2	(7.1)	SUS304TP			変更なし			
		—						1.37*5	66*5	165.2	(7.1)	SUS304TP
燃料プール冷却浄化系	*12 燃料プール冷却浄化系ポンプ 入口配管分岐点 ～ E11-F029A, B (第1,2号機共用)	静水頭	66	216.3	(8.2)	STS410	燃料プール冷却浄化系	変更なし	変更なし			
		1.37*4		216.3	(8.2)	STS42 STS410						
	*12 E11-F030A, B ～ 燃料プール冷却浄化系熱交換器 出口配管合流点 (第1,2号機共用)	3.73*4	66	216.3	(8.2)	STS410			変更なし			
		1.37*4		216.3	(8.2)	SUS304TP						

⑤の例

②の例

変更前						変更後							
名	称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名	称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
燃料 プー ル冷 却浄 化系			—				燃料 プー ル冷 却浄 化系	燃料プール冷却浄化系ろ過脱 塩器バイパス配管分岐点	1.37	66	216.3*6	(8.2)*6	STS410*6
								燃料プール冷却浄化系ろ過脱 塩器バイパス配管分岐点			216.3*6	(8.2)*6	SUS304TP*6
								燃料プール冷却浄化系ろ過脱 塩器バイパス配管合流点	1.37*5	66*5	216.3 / — / 216.3	(8.2) / — / (8.2)	SUS304TP*5,*6
								燃料プール冷却浄化系ろ過脱 塩器バイパス配管合流点			216.3	(8.2)	STS410*6
								燃料プール冷却浄化系ろ過脱 塩器出口配管分岐点	1.37	66	216.3*6	(8.2)*6	STS410*6
								燃料プール冷却浄化系ろ過脱 塩器出口配管合流点	1.37*5	66*5	216.3	(8.2)	STS410
								1.37	66	216.3*6	(8.2)*6	SUS304TP*6	

⑤の例

④の例

③の例

⑥の例

②の例

- 注記*1 : 外径は公称値を示す。
 *2 : ()内は公称値を示す。
 *3 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STS42」と記載。
 *4 : S I 単位に換算したものである。
 *5 : 重大事故等クラス 2 配管に使用する場合の記載事項。
 *6 : 本設備は既存の設備である。
 *7 : エルボを示す。
 *8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料プール冷却浄化系ポンプから燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器まで」と記載。
 *9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT38」と記載。
 *10 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器から燃料プール冷却浄化系熱交換器まで」と記載。
 *11 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料プール冷却浄化系熱交換器から使用済燃料プールまで」と記載。
 *12 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

8.4 火災防護設備

8.4.1 火災区域構造物及び火災区画構造物

・原子炉建屋

①の例

変更前					変更後						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
						RHR ポンプ(A)室他*1	火災区画	RA-1	壁	150 以上 (<input type="text"/> *2)	鉄筋コンクリート
						RCW 熱交換器・ポンプ(A)(C)室他*1	火災区画	RA-2			
						緊急用電気品室(1)他*1	火災区画	RA-3			
						CAMS ラック(A)室*1	火災区画	RA-4			
						トラス室*1	火災区画	RA-5			
						原子炉格納容器*1	火災区画	RA-6			
						B1F インナー通路他*1	火災区画	RA-7			
						運転床*1	火災区画	RA-8			
						RHR ポンプ(B)室他*1	火災区画	RB-1			
						RHR 熱交換器(B)室他*1	火災区画	RB-2			
						R-01 階段室*1	火災区画	RB-3			
						区分II非常用MCC室*1	火災区画	RB-4			
						ダスト放射線モニタ(B)室*1	火災区画	RB-5			
						CAMS ラック(B)室*1	火災区画	RB-6			
						HPCS ポンプ室他*1	火災区画	RH-1			
						RW 制御室他*1	火災区画	RH-2			
						バルブラッピング室*1	火災区画	RH-3			

注記*1：本設備は既存の設備である。

*2：公称値のうち最小のものを示す。

(5) 主配管

【略】

変更前						変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料		
補給水系	*14 低压代替注水系注入配管分岐点 ～ N21-F100	1.37*8	66	216.3	(8.2)	STPT38 STPT370	補給水系	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	
				165.2	(7.1)	STPT38							
				165.2	(7.1)	SUS304TP							
				114.3	(6.0)	STPT38							
				89.1	(5.5)	STPT38							
				89.1	(5.5)	SUS304TP							
	*16 復水移送ポンプ入口配管分岐点 ～ P13-F010	1.37*8	66	165.2	(7.1)	SUS304TP							変更なし
	*17 P13-F035 ～ 復水貯蔵タンク	静水頭	66	89.1	(5.5)	SUS304TP							変更なし
				89.1	*18(5.5)	SUSF304							
				93.3	*18(7.6)	SUSF304							
				216.3	(8.2)	SUS304TP							
	*18 N21-F041 ～ 復水貯蔵タンク	1.94	66	114.3	(6.0)	STPT38 STPT370							変更なし
静水頭		66	114.3	(6.0)	SUS304TP								
*19 純水移送ポンプ ～ 復水貯蔵タンク純水入口配管 合流点	1.18*8	66	114.3	(6.0)	SUS304TP	—*15							
			165.2	(7.1)	SUS304TP								
			89.1	(5.5)	SUS304TP								
*19 復水貯蔵タンク純水入口配管 合流点 ～ 復水貯蔵タンク	静水頭	66	165.2	(7.1)	SUS304TP	—*15							

注記*1 : 外径は公称値を示す。

*2 : ()内は公称値を示す。

*3 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水貯蔵タンクから高压炉心スプレイ系まで」と記載。

*4 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年4月3日付け4資庁第1992号にて認可された工事計画の添付書類「IV-2-1-2-2-1 管の基本板厚計算書」による。

*5 : エルボを示す。既工事計画書にはエルボを含めた管仕様を記載しているため、記載の適正化を行う。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

- *6 : 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧炉心スプレイ系，高圧代替注水系，原子炉隔離時冷却系，低圧代替注水系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器下部注水系，原子炉格納容器代替スプレイ冷却系，高圧代替注水系，低圧代替注水系）と兼用。
- *7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水貯蔵タンクから復水移送ポンプまで（復水移送ポンプ入口配管）」と記載。
- *8 : S I 単位に換算したものである。
- *9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT38」と記載。
- *10 : 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧代替注水系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器下部注水系，原子炉格納容器代替スプレイ冷却系，低圧代替注水系）と兼用。
- *11 : 重大事故等クラス2配管に使用する場合の記載事項。
- *12 : エルボを示す。
- *13 : 本設備は既存の設備である。
- *14 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水移送ポンプから復水器へ」と記載。
- *15 : 記載の適正化を行う。本設備は設計基準対象施設として工事計画書の記載範囲外である。← ①の例
- *16 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水移送ポンプ入口配管から制御棒駆動水系まで」と記載。
- *17 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「機器ドレン系から復水貯蔵タンクまで」と記載。
- *18 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。
- *19 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「純水移送ポンプより復水貯蔵タンクまで」と記載。

(8) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
残留熱除去系	—					原子炉压力容器 ～ 残留熱除去系原子炉停止時冷却モード吸込配管分岐点	3. 原子炉冷却系統施設 3.1 原子炉冷却材再循環設備 3.3.1 原子炉再循環系 (3) 主配管 (常設) に記載する。				
	E11-F014A ～ 原子炉格納容器配管貫通部 (X-33A)	8.62*5	302	355.6	(23.8)	STS42	変更なし	変更なし 10.34*7	変更なし 315*7	変更なし	
				355.6	(23.8)	STS42					
	—					原子炉格納容器配管貫通部 (X-33A)	7. 原子炉格納施設 7.1 原子炉格納容器 (4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部 に記載する。				
原子炉格納容器配管貫通部 (X-33A) ～ サブプレッションチェンバ出口配管A系合流点	1.37*5	186	355.6	(11.1)	STS42 STS410	変更なし					
			355.6	(11.1)	STS42						
			355.6	(11.1)	STS410						
			216.3*10	(8.2)*10	STS410						

①の例

STS42
STS410

【略】

(6) 安全弁及び逃がし弁

		変更前*1		変更後	
名称		N23-F020A, B*2		変更なし	
種類	—	平衡型			
吹出圧力	MPa	2.55			
吹出量	kg/h/個	421000*3			
主要寸法	呼び径	—	150A		
	のど部の径	mm	<input type="text"/>		*3
	弁座口の径	mm	115.0*3		
	リフト	mm	<input type="text"/>		
材料	弁箱	—	SCPH2		
駆動方法		—	—		
個数		—	2		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	N23-F020A 給水加熱器ドレン ベント系 A 系		N23-F020B 給水加熱器ドレン ベント系 B 系
	設置床	—	タービン建屋 O.P. 7.60m		タービン建屋 O.P. 7.60m
	溢水防護上の 区画番号	—	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		

①の例

注記*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*2：本設備は記載の適正化を行うものであり、手続き対象外である。

*3：公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(3) 使用済燃料貯蔵ラック

		変更前		変更後	
名称		使用済燃料貯蔵ラック (第 1, 2 号機共用) *1		使用済燃料貯蔵ラック (設計基準対象施設として のみ第 1, 2 号機共用) *2	
種類	—	たて置ラック式		変更なし	
容量	体/個*3	170	110		
主要 寸法	高さ	mm	□ *4, *5		
	中心間距離	mm	□ *4, *6		
	内のり	mm	□ *4		
	厚さ	mm	□ 以上 *7 (□ *4)		
材料	—	ボロン添加ステンレス鋼		①の例	
個数	—	8	8		

注記*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「使用済燃料貯蔵ラック」と記載。

*2：使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プール冷却浄化系，燃料プール代替注水系，燃料プールのスプレイ系）と兼用。

*3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「体（又は本）」と記載。

*4：公称値を示す。

*5：記載の適正化を行う。既工事計画書にはベースを含む高さである □ と記載。記載内容は，設計図書による。

*6：長辺方向×短辺方向の中心間距離を記載。

*7：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

1.2 炉心

(1) 炉心形状，格子形状，燃料集合体数，炉心有効高さ及び炉心等価直径

		変更前*1	変更後
炉心形状	—	円柱状(9×9型燃料集合体形状，チャンネルボックス(断面内寸法 <input type="text"/> mm× <input type="text"/> mm，板厚 <input type="text"/> mm，ジルカロイ-4製)付き)	①の例
格子形状	—	S格子	変更なし
燃料集合体数	—	560	
炉心有効高さ	mm	<input type="text"/>	
炉心等価直径	mm	<input type="text"/>	

注記*1：記載内容は，既工事計画認可申請書（平成22年9月15日付け東北電原技第6号工事計画認可申請書）による。なお，本工事計画は，申請した工事計画に対して，基本設計方針の変更を行うことに伴い申請することを含む。

①の例

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

c. 原子炉建屋水素濃度抑制系
 W 再結合装置 (常設)

			変更前	変更後
名 称				静的触媒式水素再結合装置
種 類	—			触媒式
容 量	—			—
最 高 使 用 圧 力	—			—
最 高 使 用 温 度	℃			300* ¹
再 結 合 効 率	kg/h/個			0.50 以上* ¹ , * ² (水素濃度 4.0vol%, 大気圧, 温度 100℃ において)
主 要 寸 法	全 高	mm		817* ³
	幅	mm		463* ³
	奥 行	mm		460* ³
材 料	ハウジング	—		SUS304 相当 ()
個 数	—			19
取 付 箇 所	系 統 名 (ライン名)	—		—
	設 置 床	—		原子炉建屋 O. P. 33. 20m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		R-3F-1
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		床上 0.31m 以上

注記*1 : 重大事故等時における使用時の値。

*2 : 水素処理容量を示す。メーカー型式 PAR-88 の性能評価式の代表点での値にスケールファクタを乗じた値。

*3 : 公称値を示す。

①の例

(8) 主配管

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
主蒸気系	*3 原子炉圧力容器 ～ B21-F001D分岐点	8.62*4	302	609.6	(31.0)	STS49	変更なし	変更なし 10.34*5	変更なし 315*5	変更なし	
	*3 B21-F001D分岐点 ～ 原子炉格納容器配管貫通部 (X-10A)	8.62*4	302	609.6	(31.0)	STS49	変更なし				
	*3 原子炉格納容器配管貫通部 (X-10A) ～ 主蒸気ヘッダ	8.62*4	302	609.6	<input type="text"/> *6 (31.0)	SGV49	主蒸気系	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
				609.6	<input type="text"/> *6 (31.0)	SGV49					
				558.8	<input type="text"/> *6 (28.6)	SGV49					
	558.8	<input type="text"/> *6 (28.6)	SGV49								
	*7 558.8	<input type="text"/> *6 (28.6)	SGV49								
*8 B21-F001A分岐点 ～ B21-F001A	8.62*4	302	228.6	<input type="text"/> *6 (33.0)	SFVC2B	変更なし	変更なし 10.34*5	変更なし 315*5	変更なし		
*9 B21-F001A ～ T-クエンチャ	3.80*4	249	267.4	(15.1)	STS42 STS410	変更なし	変更なし 4.71*5	変更なし 262*5	変更なし		
									*11,*12 267.4	*11,*12 (15.1)	*11,*12 STS42
									*11,*12 267.4	*11,*12 (15.1)	*11,*12 SCS16A
	3.80*4	249	323.9	<input type="text"/> *6 (17.5)	SCS16A	変更なし	変更なし 4.71*5	変更なし 262*5	変更なし		

①の例

【中略】

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注記*1 : 外径は公称値を示す。

*2 : ()内は公称値を示す。

*3 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉压力容器から主蒸気ヘッダまで(主蒸気ヘッダ入口配管)」と記載。

*4 : S I単位に換算したものである。

*5 : 重大事故等時の使用時の値。

*6 : 既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年1月13日付け3資庁第10518号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-2-1-1-1管の基本板厚計算書」による。

①の例

*7 : エルボを示す。既工事計画書にはエルボを含めた管仕様を記載しているため、記載の適正化を行う。

*8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「主蒸気ヘッダ入口配管から主蒸気逃がし安全弁まで」と記載。

*9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「主蒸気逃がし安全弁(自動減圧機能用)からサブプレッションチェンバへ」と記載。

*10 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STS42」と記載。

*11 : 重大事故等クラス2配管に使用する場合の記載事項。

*12 : 本設備は既存の設備である。

*13 : エルボを示す。

*14 : 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(高圧代替注水系、原子炉隔離時冷却系)及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備(高圧代替注水系)と兼用。

*15 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「主蒸気ヘッダから原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービンまで(原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン入口配管)」と記載。

*16 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン入口配管から湿分分離加熱器第2段加熱器へ」と記載。

*17 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。

*18 : 計測制御系統施設のうち制御用空気設備(高圧窒素ガス供給系)と兼用。

*19 : 差込継手の差込部内径及び最小厚さ。

*20 : フルカップリングを示す。

*21 : 伸縮継手部の外径及び厚さ。

*22 : 本設備は、計測制御系統施設のうち制御用空気設備(高圧窒素ガス供給系)であり、原子炉冷却材の循環設備(主蒸気系)として本工事計画で兼用とする。

*23 : 本設備は、既存の原子炉格納施設のうち原子炉格納容器(配管貫通部及び電気配線貫通部)であり、原子炉冷却材の循環設備(主蒸気系)として本工事計画で兼用とする。

(8) 主配管(スプレイヘッドを含む。)(可搬型)

変更前								変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	*1 最高使用圧力 (MPa)	*1 最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
燃料ブール代替注水系	—	—	—	—	—	—	燃料ブール代替注水系	取水用ホース (250A : 5m, 10m, 20m)	1.4	50	250A*3	—*4	ポリエステル, ポリウレタン	*5 36 (予備 3)	保管場所 : ・第1保管エリア 屋外 O.P. 約62 m ・第2保管エリア 屋外 O.P. 約62 m ・第3保管エリア 屋外 O.P. 約14.8 m ・第4保管エリア 屋外 O.P. 約62 m 予備を含めた39本を第1保管エリアに12本, 第2保管エリアに12本, 第3保管エリアに12本及び第4保管エリアに3本保管する。 取付箇所 : ・屋外 O.P. 約62 m 淡水貯水槽 (No. 1) 及び淡水貯水槽 (No. 2) ~ 屋外 O.P. 約62 m 大容量送水ポンプ(タイプ I) (4本*6) ・屋外 O.P. 約3.5 m 取水口又は屋外 O.P. 約14.8 m 海水ポンプ室~屋外 O.P. 約3.5 m又は屋外 O.P. 約14.8 m 大容量送水ポンプ(タイプ I) (6本*7, *8) ・屋外 O.P. 約3.5 m 取水口又は屋外 O.P. 約14.8 m 海水ポンプ室~屋外 O.P. 約3.5 m又は屋外 O.P. 約14.8 m 大容量送水ポンプ(タイプ II) (6本*9, *10)

①の例

*2

②の例

③の例

【中略】

注記*1：重大事故等時における使用時の値。

*2：使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備(燃料プールスプレイ系、放射性物質拡散抑制系)、原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備(原子炉格納容器フィルタベント系)、非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(低圧代替注水系、代替水源移送系)及び原子炉補機冷却設備(原子炉補機代替冷却水系)並びに原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備(原子炉格納容器下部注水系、原子炉格納容器代替スプレイ冷却系、低圧代替注水系)、放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(放射性物質拡散抑制系、放射性物質拡散抑制系(航空機燃料火災への泡消火)、原子炉格納容器フィルタベント系)及び圧力逃がし装置(原子炉格納容器フィルタベント系)と兼用する。

*3：メーカーにて規定する呼び径を示す。

*4：メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

*5：必要本数36本(5m:12本, 10m:12本, 20m:12本)に予備各1本の数量を示す。

*6：本系統及び使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備(燃料プールスプレイ系)、原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備(原子炉格納容器フィルタベント系)及び非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(低圧代替注水系、代替水源移送系)並びに原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備(原子炉格納容器下部注水系、原子炉格納容器代替スプレイ冷却系、低圧代替注水系)、放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(原子炉格納容器フィルタベント系)及び圧力逃がし装置(原子炉格納容器フィルタベント系)で使用する場合は示す。

*7：本系統及び使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備(燃料プールスプレイ系)、原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(低圧代替注水系、代替水源移送系)及び原子炉補機冷却設備(原子炉補機代替冷却水系)並びに原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備(原子炉格納容器下部注水系、原子炉格納容器代替スプレイ冷却系、低圧代替注水系)で使用する場合は示す。

*8：最長ルートである「海水ポンプ室～大容量送水ポンプ(タイプⅠ)」に敷設した場合(5m:2本, 10m:2本, 20m:2本)の数量を示す。

*9：使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備(放射性物質拡散抑制系)並びに原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(代替水源移送系)及び放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(放射性物質拡散抑制系、放射性物質拡散抑制系(航空機燃料火災への泡消火))で使用する場合は示す。

*10：最長ルートである「海水ポンプ室～大容量送水ポンプ(タイプⅡ)」に敷設した場合(5m:2本, 10m:2本, 20m:2本)の数量を示す。

*11：必要本数217本(2m:6本, 5m:7本, 10m:6本, 20m:14本, 50m:184本)に予備各1本の数量を示す。

*12：本系統及び使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備(燃料プールスプレイ系)、原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備(原子炉格納容器フィルタベント系)及び非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(低圧代替注水系、代替水源移送系)並びに原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備(原子炉格納容器下部注水系、原子炉格納容器代替スプレイ冷却系、低圧代替注水系)、放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(原子炉格納容器フィルタベント系)及び圧力逃がし装置(原子炉格納容器フィルタベント系)で使用する場合は示す。

*13：最長ルートである「屋外 0.P.約62m大容量送水ポンプ(タイプⅠ)～注水用ヘッダ(東側設置)」に敷設した場合(20m:1本, 50m:32本)の数量を示す。

*14：原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(代替水源移送系)で使用する場合は示す。

*15：最長ルートである「屋外 0.P.約14.8m大容量送水ポンプ(タイプⅡ)～淡水貯水槽(No.1)及び淡水貯水槽(No.2)」に敷設した場合(2m:1本, 50m:32本)の数量を示す。

*16：原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備(原子炉補機代替冷却水系)で使用する場合は示す。

*17：最長ルートである「屋外 0.P.約3.5m大容量送水ポンプ(タイプⅠ)～原子炉補機代替冷却水系熱交換器ユニット(北側設置)」に敷設した場合(5m:1本, 10m:1本, 50m:26本)の数量を示す。

*18：最長ルートである「原子炉補機代替冷却水系熱交換器ユニット(西側設置)～放水槽」に敷設した場合(20m:2本, 50m:4本)の数量を示す。

*19：使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備(放射性物質拡散抑制系)及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(放射性物質拡散抑制系、放射性物質拡散抑制系(航空機燃料火災への泡消火))で使用する場合は示す。

*20：最長ルートである「屋外 0.P.約3.5m大容量送水ポンプ(タイプⅡ)～放水砲」に敷設した場合(5m:1本, 20m:2本, 50m:28本)の数量を示す。

*21：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(放射性物質拡散抑制系(航空機燃料火災への泡消火))で使用する場合は示す。

*22：使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備(燃料プールスプレイ系)、原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備(原子炉格納容器フィルタベント系)及び非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(低圧代替注水系、代替水源移送系)並びに原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備(原子炉格納容器下部注水系、原子炉格納容器代替スプレイ冷却系、低圧代替注水系)、放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(原子炉格納容器フィルタベント系)及び圧力逃がし装置(原子炉格納容器フィルタベント系)と兼用する。

*23：公称値を示す。

*24：使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備(燃料プールスプレイ系)、原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(低圧代替注水系、代替水源移送系)並びに原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備(原子炉格納容器下部注水系、原子炉格納容器代替スプレイ冷却系、低圧代替注水系)と兼用する。

*25：必要本数137本(1m:6本, 2m:10本, 5m:21本, 10m:21本, 20m:79本)に予備各5本の数量を示す。

*26：本系統で使用する場合は示す。

*27：最長ルートである「注水用ヘッダ～原子炉建屋原子炉棟」に敷設した場合(20m:3本)の数量を示す。

*28：最長ルートである「注水用ヘッダ(東側設置)～使用済燃料プール」に敷設した場合(5m:3本, 10m:1本, 20m:6本)の数量を示す。

*29：使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備(燃料プールスプレイ系)で使用する場合は示す。

*30：最長ルートである「注水用ヘッダ(東側設置)～クロスデバイザー管」に敷設した場合(2m:2本, 5m:4本, 10m:3本, 20m:6本)の数量を示す。

*34：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備(原子炉格納容器代替スプレイ冷却系)で使用する場合は示す。

【略】

4.7.4 ATWS緩和設備（自動減圧系作動阻止機能）の起動信号（常設）

変更前						変更後						
工学的安全施設等の起動信号の種類	検出器の種類	個数	取付箇所	工学的安全施設等の起動に要する信号の個数	設定値	工学的安全施設等の起動信号の種類	検出器の種類	個数	取付箇所	工学的安全施設等の起動に要する信号の個数	設定値	工学的安全施設等の起動信号を発信させない条件
—						原子炉水位低（レベル2）と中性子束高の同時信号	*1, *2, *3 原子炉水位検出器	6	系 統 名 （ライン名） 原子炉系 設 置 床 原子炉建屋 O.P. 6.00m 溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号 R-B1F-1*4 溢水防護上の配慮 が必要な高さ 床上 0.24m以上	4	原子炉圧力容器零レベル*6 より 1216cm 以上	—
					*1, *7 出力領域 中性子束 検出器		*8, *9 6	系 統 名 （ライン名） 原子炉核計装系 設 置 床 原子炉 格納容器内 O.P. 6.00m 溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号 — 溢水防護上の配慮 が必要な高さ	4	10%*11 以下		

①の例

- 注記*1：本設備は、既存の設備である。
- *2：本検出器は、工学的安全施設等の起動信号のうち低圧炉心スプレイ系、残留熱除去系及び自動減圧系並びに代替自動減圧回路（代替自動減圧機能）の起動信号の「原子炉水位低（レベル1）」として使用する検出器と同じである。
- *3：本検出器は、ATWS緩和設備（代替制御棒挿入機能）の起動信号及びATWS緩和設備（代替原子炉再循環ポンプトリップ機能）の起動信号の「原子炉水位低（レベル2）」として使用する検出器と同じである。
- *4：対象計器は、B21-LT036C, B21-LT036D, B21-LT037A, B21-LT037B, B21-LT037C, B21-LT037D。
- *5：ATWS緩和設備（自動減圧系作動阻止機能）の作動回路は、3個の検出器からなるA, B2系統のチャンネルで構成され、A, B各々に属する最低2個の検出器及び「中性子束高」が同時に動作すれば、ATWS緩和設備（自動減圧系作動阻止機能）作動となる。
- *6：原子炉圧力容器零レベルは、セパレータスカート下端より1278cm下。
- *7：本検出器は、原子炉非常停止信号の「中性子束高」として使用する検出器と同じである。
- *8：個数は平均出力領域モニタのチャンネル数を示す。
- *9：対象計器は、C51-NE011A, B, D, C51-NE012B, C, D, C51-NE013A, B, D, C51-NE014A, B, C, C51-NE015A, C, D, C51-NE016A, B, C, C51-NE017B, C, D, C51-NE018A, B, D, C51-NE019B, C, D, C51-NE020A, C, D, C51-NE021A, B, C, C51-NE022A, C, D, C51-NE023A, B, D, C51-NE024B, C, D, C51-NE025A, B, D, C51-NE026A, C, D, C51-NE027A, B, C, C51-NE028A, B, D, C51-NE029B, C, D, C51-NE030A, B, C, C51-NE031A, C, D, C51-NE032A, B, C, C51-NE033A, B, D, C51-NE034B, C, D, C51-NE035A, B, D, C51-NE036A, C, D, C51-NE037A, B, C, C51-NE038A, C, D, C51-NE039A, B, D, C51-NE040B, C, D, C51-NE041A, C, D。
- *10：ATWS緩和設備（自動減圧系作動阻止機能）の作動回路は、3個の検出器からなるA, B2系統のチャンネルで構成され、A, B各々に属する最低2個の検出器及び「原子炉水位低（レベル2）」が同時に動作すれば、ATWS緩和設備（自動減圧系作動阻止機能）作動となる。
- *11：定格出力時の値に対する比率で示す。

(8) 原子炉格納容器調気設備

a. 原子炉格納容器調気系

ニ 主要弁

			変更前	変更後
名称 ^{*1}			T48-F011 ^{*2}	変更なし
種類	—		止め弁	
最高使用圧力	kPa		427 ^{*3}	
最高使用温度	℃		171 ^{*3}	
主要寸法	呼び径	— ^{*4}	50A ^{*5}	
	弁箱厚さ	mm	<input type="text"/> ^{*3}	<input type="text"/>
	弁ふた厚さ	mm	<input type="text"/> ^{*3}	<input type="text"/>
材料	弁箱	—	S25C	変更なし
	弁ふた	—	S25C	
駆動方法		—	空気作動	電気作動
個数		—	1	変更なし
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	T48-F011 ^{*3} 原子炉格納容器調気系	変更なし
	設置床	—	原子炉建屋 ^{*6} O.P. -8.10m	
	溢水防護上の 区画番号	—	—	—
	溢水防護上の配慮 が必要な高さ	—	—	—

注記*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「名称又は弁番号」と記載。

*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「F011」と記載。記載内容は、設計図書による。

*3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「(呼び径 A)」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「50」と記載。記載内容は、設計図書による。

*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器外」と記載。記載内容は、設計図書による。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

要目表 兼用先一覽

要目表(機器)兼用先一覧【女川2号機】1/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分／機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分／機器区分		系統名称	設備別記載事項
炉心シュラウド	原子炉本体	6 炉心支持構造物	(1) 炉心シュラウド及びシュラウドサポート	-	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	-	3.5.1 残留熱除去系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.1 高压炉心スプレイ系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.2 低压炉心スプレイ系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.3 高压代替注水系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.4 原子炉隔離時冷却系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.5 低压代替注水系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.6 代替循環冷却系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.7 ほう酸水注入系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.8 残留熱除去系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							計測制御系統施設	4 ほう酸水注入設備	-	4.4.1 ほう酸水注入系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).d 代替循環冷却系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).e 高压代替注水系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).f 低压代替注水系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).g ほう酸水注入系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)							

要目表(機器)兼用先一覧【女川2号機】2/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
シュラウドサポート	原子炉本体	6 炉心支持構造物	(1) 炉心シュラウド及びシュラウドサポート	-	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	-	3.5.1 残留熱除去系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.1 高压炉心スプレイ系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.2 低压炉心スプレイ系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.3 高压代替注水系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.4 原子炉隔離時冷却系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.5 低压代替注水系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.6 代替循環冷却系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.7 ほう酸水注入系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.8 残留熱除去系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							計測制御系統施設	4 ほう酸水注入設備	-	4.4.1 ほう酸水注入系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).d 代替循環冷却系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).e 高压代替注水系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).f 低压代替注水系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).g ほう酸水注入系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)							

要目表(機器)兼用先一覧【女川2号機】3/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
炉心シュラウド支持ロッド	原子炉本体	6 炉心支持構造物	(1) 炉心シュラウド及びシュラウドサポート	-	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	-	3.5.1 残留熱除去系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.1 高压炉心スプレイ系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.2 低压炉心スプレイ系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.3 高压代替注水系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.4 原子炉隔離時冷却系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.5 低压代替注水系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.6 代替循環冷却系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.7 ほう酸水注入系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.8 残留熱除去系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							計測制御系統施設	4 ほう酸水注入設備	-	4.4.1 ほう酸水注入系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).d 代替循環冷却系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).e 高压代替注水系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).f 低压代替注水系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).g ほう酸水注入系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)							

要目表(機器)兼用先一覧【女川2号機】4/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分／機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分／機器区分		系統名称	設備別記載事項
上部格子板	原子炉本体	6 炉心支持構造物	(2) 上部格子板	-	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	-	3.5.1 残留熱除去系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.1 高压炉心スプレイ系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.2 低压炉心スプレイ系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.3 高压代替注水系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.4 原子炉隔離時冷却系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.5 低压代替注水系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.6 代替循環冷却系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.7 ほう酸水注入系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.8 残留熱除去系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							計測制御系統施設	4 ほう酸水注入設備	-	4.4.1 ほう酸水注入系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).d 代替循環冷却系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).e 高压代替注水系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).f 低压代替注水系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).g ほう酸水注入系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)							

要目表(機器)兼用先一覧【女川2号機】5/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
炉心支持板	原子炉本体	6 炉心支持構造物	(3) 炉心支持板	-	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	-	3.5.1 残留熱除去系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.1 高压炉心スプレイ系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.2 低压炉心スプレイ系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.3 高压代替注水系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.4 原子炉隔離時冷却系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.5 低压代替注水系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.6 代替循環冷却系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.7 ほう酸水注入系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.8 残留熱除去系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							計測制御系統施設	4 ほう酸水注入設備	-	4.4.1 ほう酸水注入系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).d 代替循環冷却系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).e 高压代替注水系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).f 低压代替注水系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).g ほう酸水注入系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)							

要目表(機器)兼用先一覧【女川2号機】6/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分／機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分／機器区分		系統名称	設備別記載事項
中央燃料支持金具	原子炉本体	6 炉心支持構造物	(4) 燃料支持金具	-	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	-	3.5.1 残留熱除去系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.1 高压炉心スプレイ系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.2 低压炉心スプレイ系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.3 高压代替注水系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.4 原子炉隔離時冷却系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.5 低压代替注水系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.6 代替循環冷却系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.7 ほう酸水注入系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.8 残留熱除去系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							計測制御系統施設	4 ほう酸水注入設備	-	4.4.1 ほう酸水注入系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).d 代替循環冷却系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).e 高压代替注水系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).f 低压代替注水系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).g ほう酸水注入系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)							

要目表(機器)兼用先一覧【女川2号機】7/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分／機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分／機器区分		系統名称	設備別記載事項
周辺燃料支持金具	原子炉本体	6 炉心支持構造物	(4) 燃料支持金具	-	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	-	3.5.1 残留熱除去系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.1 高压炉心スプレイ系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.2 低压炉心スプレイ系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.3 高压代替注水系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.4 原子炉隔離時冷却系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.5 低压代替注水系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.6 代替循環冷却系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.7 ほう酸水注入系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.8 残留熱除去系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							計測制御系統施設	4 ほう酸水注入設備	-	4.4.1 ほう酸水注入系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).d 代替循環冷却系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).e 高压代替注水系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).f 低压代替注水系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).g ほう酸水注入系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)							

要目表(機器)兼用先一覧【女川2号機】8/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分／機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分／機器区分		系統名称	設備別記載事項
制御棒案内管	原子炉本体	6 炉心支持構造物	(5) 制御棒案内管	-	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	-	3.5.1 残留熱除去系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.1 高压炉心スプレイ系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.2 低压炉心スプレイ系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.3 高压代替注水系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.4 原子炉隔離時冷却系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.5 低压代替注水系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.6 代替循環冷却系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.7 ほう酸水注入系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.8 残留熱除去系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							計測制御系統施設	4 ほう酸水注入設備	-	4.4.1 ほう酸水注入系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).d 代替循環冷却系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).e 高压代替注水系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).f 低压代替注水系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).g ほう酸水注入系	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)							

要目表(機器)兼用先一覧【女川2号機】9/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分						
	施設区分	設備区分／機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分／機器区分		系統名称	設備別記載事項	
原子炉圧力容器	原子炉本体	7	原子炉圧力容器	(1) 原子炉圧力容器本体 並びに監視試験片	-	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 監視試験片の種類 初装荷個数 取付箇所	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 監視試験片の種類 初装荷個数 取付箇所	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	-	3.5.1 残留熱除去系	(注水先として基本設計方針に記載)
								原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.1 高圧炉心スプレイ系	(注水先として基本設計方針に記載)
								原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.2 低圧炉心スプレイ系	(注水先として基本設計方針に記載)
								原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.3 高圧代替注水系	(注水先として基本設計方針に記載)
								原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.4 原子炉隔離時冷却系	(注水先として基本設計方針に記載)
								原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.5 低圧代替注水系	(注水先として基本設計方針に記載)
								原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.6 代替循環冷却系	(注水先として基本設計方針に記載)
								原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.7 ほう酸水注入系	(注水先として基本設計方針に記載)
								原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.8 残留熱除去系	(注水先として基本設計方針に記載)
								計測制御系統施設	4 ほう酸水注入設備	-	4.4.1 ほう酸水注入系	(注水先として基本設計方針に記載)
								原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).d 代替循環冷却系	(注水先として基本設計方針に記載)
								原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).e 高圧代替注水系	(注水先として基本設計方針に記載)
								原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).f 低圧代替注水系	(注水先として基本設計方針に記載)
原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).g ほう酸水注入系	(注水先として基本設計方針に記載)								

要目表(機器)兼用先一覧【女川2号機】10/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
差圧検出・ほう酸水注入系配管(ティーよりN11ノズルまでの外管)	原子炉本体	7	原子炉圧力容器	-	(3) 原子炉圧力容器付属構造物 差圧検出・ほう酸水注入配管	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.7 ほう酸水注入系	- (流路として基本設計方針に記載)
							計測制御系統施設	4 ほう酸水注入設備	-	4.4.1 ほう酸水注入系	- (流路として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).g ほう酸水注入系	- (流路として基本設計方針に記載)
ジェットポンプ	原子炉本体	7	原子炉圧力容器	-	(4) 原子炉圧力容器内部構造物 ニジェットポンプ	名称 種類 主要寸法 材料 個数	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	-	3.5.1 残留熱除去系	- (流路として基本設計方針に記載)
給水スパージャ	原子炉本体	7	原子炉圧力容器	-	(4) 原子炉圧力容器内部構造物 ホスパージャ及び内部配管	名称 種類 主要寸法 材料 個数	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.3 高圧代替注水系	- (流路として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.4 原子炉隔離時冷却系	- (流路として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).e 高圧代替注水系	- (流路として基本設計方針に記載)
高圧炉心スプレイスパージャ	原子炉本体	7	原子炉圧力容器	-	(4) 原子炉圧力容器内部構造物 ホスパージャ及び内部配管	名称 種類 主要寸法 材料 個数	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.1 高圧炉心スプレイ系	- (流路として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.5 低圧代替注水系	- (流路として基本設計方針に記載)
低圧炉心スプレイスパージャ	原子炉本体	7	原子炉圧力容器	-	(4) 原子炉圧力容器内部構造物 ホスパージャ及び内部配管	名称 種類 主要寸法 材料 個数	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.2 低圧炉心スプレイ系	- (流路として基本設計方針に記載)

要目表(機器)兼用先一覧【女川2号機】11/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分						兼用する施設・設備登録区分				
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
残留熱除去系配管(原子炉圧力容器内部)	原子炉本体	7 原子炉圧力容器	(4) 原子炉圧力容器内部構造物 ホスパージャ及び内部配管	-	名称 種類 主要寸法 材料 個数	名称 種類 主要寸法 材料 個数	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.5 低圧代替注水系	(流路として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.6 代替循環冷却系	(流路として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.8 残留熱除去系	(流路として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).d 代替循環冷却系	(流路として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).f 低圧代替注水系	(流路として基本設計方針に記載)
高圧炉心スプレイ系配管(原子炉圧力容器内部)	原子炉本体	7 原子炉圧力容器	(4) 原子炉圧力容器内部構造物 ホスパージャ及び内部配管	-	名称 種類 主要寸法 材料 個数	名称 種類 主要寸法 材料 個数	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.1 高圧炉心スプレイ系	(流路として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.5 低圧代替注水系	(流路として基本設計方針に記載)
低圧炉心スプレイ系配管(原子炉圧力容器内部)	原子炉本体	7 原子炉圧力容器	(4) 原子炉圧力容器内部構造物 ホスパージャ及び内部配管	-	名称 種類 主要寸法 材料 個数	名称 種類 主要寸法 材料 個数	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.2 低圧炉心スプレイ系	(流路として基本設計方針に記載)
差圧検出・ほう酸水注入系配管(原子炉圧力容器内部)	原子炉本体	7 原子炉圧力容器	(4) 原子炉圧力容器内部構造物 ホスパージャ及び内部配管	-	名称 種類 主要寸法 材料 個数	名称 種類 主要寸法 材料 個数	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.7 ほう酸水注入系	(流路として基本設計方針に記載)
							計測制御系統施設	4 ほう酸水注入設備	-	4.4.1 ほう酸水注入系	(流路として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).g ほう酸水注入系	(流路として基本設計方針に記載)

要目表(機器) 兼用先一覧【女川2号機】12/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分						
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	
使用済燃料プール(設計基準対象施設としてのみ第1,2号機共用)	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	3	使用済燃料貯蔵設備	(1) 使用済燃料貯蔵槽	-	名称 種類 容量 主要寸法 材料 個数	名称 種類 容量 主要寸法 材料 個数	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	-	2.4.1 燃料プール冷却浄化系	- (注入先として基本設計方針に記載)
								核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	-	2.4.2 燃料プール代替注水系	- (注入先として基本設計方針に記載)
								核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	-	2.4.3 燃料プールスプレイ系	- (注入先として基本設計方針に記載)
使用済燃料貯蔵ラック(設計基準対象施設としてのみ第1,2号機共用)	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	3	使用済燃料貯蔵設備	(3) 使用済燃料貯蔵ラック	-	名称 種類 容量 主要寸法 材料 個数	名称 種類 容量 主要寸法 材料 個数	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	-	2.4.1 燃料プール冷却浄化系	- (注入先として基本設計方針に記載)
								核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	-	2.4.2 燃料プール代替注水系	- (注入先として基本設計方針に記載)
								核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	-	2.4.3 燃料プールスプレイ系	- (注入先として基本設計方針に記載)
制御棒・破損燃料貯蔵ラック	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	3	使用済燃料貯蔵設備	(4) 破損燃料貯蔵ラック	-	名称 種類 容量 主要寸法 材料 個数	名称 種類 容量 主要寸法 材料 個数	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	-	2.4.1 燃料プール冷却浄化系	- (注入先として基本設計方針に記載)
								核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	-	2.4.2 燃料プール代替注水系	- (注入先として基本設計方針に記載)
								核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	-	2.4.3 燃料プールスプレイ系	- (注入先として基本設計方針に記載)

要目表(機器)兼用先一覧【女川2号機】13/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分／機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分／機器区分		系統名称	設備別記載事項
大容量送水ポンプ(タイプ1)	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(2) ポンプ(可搬型)	2.4.2 燃料プール代替注水系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(2) ポンプ(可搬型)	2.4.3 燃料プールスプレイ系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
							原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(3) ポンプ(可搬型)	3.5.2 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(1) ポンプ(可搬型)	3.6.5 低圧代替注水系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(1) ポンプ(可搬型)	3.6.9 代替水源移送系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所

要目表(機器) 兼用先一覧【女川2号機】14/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
大容量送水ポンプ(タイプ1)	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(2) ポンプ(可搬型)	2.4.2 燃料プール代替注水系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(3) ポンプ(可搬型)	3.8.3 原子炉補機代替冷却水系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
					原動機の種類 出力 個数 取付箇所	原動機の種類 出力 個数 取付箇所	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	ハ ポンプ(可搬型)	7.3.(6).b 原子炉格納容器下部注水系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
大容量送水ポンプ(タイプ1)	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(2) ポンプ(可搬型)	2.4.2 燃料プール代替注水系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	ハ ポンプ(可搬型)	7.3.(6).c 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
					原動機の種類 出力 個数 取付箇所	原動機の種類 出力 個数 取付箇所	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	ハ ポンプ(常設)	7.3.(6).f 低圧代替注水系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所

要目表(機器) 兼用先一覧【女川2号機】16/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分						
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	
残留熱除去系熱交換器(A)	原子炉冷却系統施設	5	(2) 熱交換器(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 伝熱面積 主要寸法 材料 個数 取付箇所	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 伝熱面積 主要寸法 材料 個数 取付箇所	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	—	3.6.6 代替循環冷却系	—	(熱交換器機能として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	—	3.6.8 残留熱除去系	—	(熱交換器機能として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	—	3.8.3 原子炉補機代替冷却水系	—	(熱交換器機能として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	—	7.3.(6).b 原子炉格納容器下部注水系	—	(熱交換器機能として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	□ 熱交換器(常設)	7.3.(6).d 代替循環冷却系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 伝熱面積 主要寸法 材料 個数 取付箇所	
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	□ 熱交換器(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 伝熱面積 主要寸法 材料 個数 取付箇所	
原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	□ 熱交換器(常設)	7.3.(6).i 残留熱除去系(サブプレッションプール水冷却モード)	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 伝熱面積 主要寸法 材料 個数 取付箇所								

要目表(機器) 兼用先一覧【女川2号機】17/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
残留熱除去系熱交換器(B)	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(2) 熱交換器(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 伝熱面積 主要寸法 材料 個数 取付箇所	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 伝熱面積 主要寸法 材料 個数 取付箇所	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	—	3.6.8 残留熱除去系	— (熱交換器機能として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	—	3.8.3 原子炉補機代替冷却水系	— (熱交換器機能として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	□ 熱交換器(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 伝熱面積 主要寸法 材料 個数 取付箇所
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	□ 熱交換器(常設)	7.3.(6).i 残留熱除去系(サブプレッションプール水冷却モード)	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 伝熱面積 主要寸法 材料 個数 取付箇所
残留熱除去系ポンプ(A),(B)	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(3) ポンプ(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(1) ポンプ(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	ハ ポンプ(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所

要目表(機器) 兼用先一覧【女川2号機】18/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分	系統名称	設備別記載事項	
残留熱除去系ポンプ(A),(B)	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(3) ポンプ(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	ハ ポンプ(常設)	7.3.(6).i 残留熱除去系(サブレッションプール水冷モード)	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
残留熱除去系ポンプ(C)	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(3) ポンプ(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(1) ポンプ(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
残留熱除去系ストレーナ(A)	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(5) ろ過装置(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(4) ろ過装置(常設)	3.6.6 代替循環冷却系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(4) ろ過装置(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所

要目表(機器) 兼用先一覧【女川2号機】19/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
残留熱除去系ストレート(A)	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(5) ろ過装置(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	ろ過装置(常設)	7.3.(6).b 原子炉格納容器下部注水系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	ろ過装置(常設)	7.3.(6).d 代替循環冷却系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	ろ過装置(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	ろ過装置(常設)	7.3.(6).i 残留熱除去系(サブプレッションプール水冷却モード)	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所

要目表(機器)兼用先一覧【女川2号機】20/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分						兼用する施設・設備登録区分				
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
残留熱除去系ストレーナ(B)	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(5) ろ過装置(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(4) ろ過装置(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	ろ過装置(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	ろ過装置(常設)	7.3.(6).i 残留熱除去系(サブレッションプール水冷却モード)	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所
残留熱除去系ストレーナ(C)	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(5) ろ過装置(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(4) ろ過装置(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所

要目表(機器) 兼用先一覧【女川2号機】21/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分／機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分／機器区分		系統名称	設備別記載事項
E11-F048A	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(6) 安全弁及び逃がし弁(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(5) 安全弁及び逃がし弁(常設)	3.6.6 代替循環冷却系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(5) 安全弁及び逃がし弁(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	予 安全弁及び逃がし弁(常設)	7.3.(6).b 原子炉格納容器下部注水系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	予 安全弁及び逃がし弁(常設)	7.3.(6).d 代替循環冷却系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	予 安全弁及び逃がし弁(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
E11-F048A	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(6) 安全弁及び逃がし弁(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	予 安全弁及び逃がし弁(常設)	7.3.(6).i 残留熱除去系(サブプレッションプール水冷却モード)	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所

要目表(機器) 兼用先一覧【女川2号機】22/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分／機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分／機器区分	系統名称	設備別記載事項	
E11-F048B	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(6) 安全弁及び逃がし弁(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(5) 安全弁及び逃がし弁(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	チ 安全弁及び逃がし弁(常設)	7.3.(6).d 代替循環冷却系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	チ 安全弁及び逃がし弁(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	チ 安全弁及び逃がし弁(常設)	7.3.(6).i 残留熱除去系(サブプレッションプール水冷却モード)	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
E11-F048C	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(6) 安全弁及び逃がし弁(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(5) 安全弁及び逃がし弁(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
E22-F023	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(5) 安全弁及び逃がし弁(常設)	3.6.1 高圧炉心スプレイ系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(5) 安全弁及び逃がし弁(常設)	3.6.5 低圧代替注水系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所

要目表(機器) 兼用先一覧【女川2号機】23/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
高压代替注水タービンポンプ	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(1) ポンプ(常設)	3.6.3 高压代替注水系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	ハポンプ(常設)	7.3.(6).e 高压代替注水系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
原子炉隔離時冷却系ポンプ	原子炉冷却系統施設	7 原子炉冷却材補給設備	(1) ポンプ	3.7.1 原子炉隔離時冷却系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(1) ポンプ(常設)	3.6.4 原子炉隔離時冷却系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
E51-F008	原子炉冷却系統施設	7 原子炉冷却材補給設備	(4) 主要弁	3.7.1 原子炉隔離時冷却系	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	—	3.6.4 原子炉隔離時冷却系	— (SA時操作弁として基本設計方針に記載)

要目表(機器) 兼用先一覧【女川2号機】24/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
復水移送ポンプ	原子炉冷却系統施設	7 原子炉冷却材補給設備	(1) ポンプ	3.7.2 補給水系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(1) ポンプ(常設)	3.6.5 低圧代替注水系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	ハ ポンプ(常設)	7.3.(6).b 原子炉格納容器下部注水系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	ハ ポンプ(常設)	7.3.(6).c 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	ハ ポンプ(常設)	7.3.(6).f 低圧代替注水系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所

要目表(機器) 兼用先一覧【女川2号機】25/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分／機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分／機器区分	系統名称	設備別記載事項	
復水貯蔵タンク	原子炉冷却系統施設	7 原子炉冷却材補給設備	(2) 容器	3.7.2 補給水系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(2) 容器(常設)	3.6.1 高圧炉心スプレイ系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(2) 容器(常設)	3.6.3 高圧代替注水系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(2) 容器(常設)	3.6.4 原子炉隔離時冷却系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(2) 容器(常設)	3.6.5 低圧代替注水系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	—	3.6.9 代替水源移送系	— (水源として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	—	—	—

要目表(機器) 兼用先一覧【女川2号機】26/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分						兼用する施設・設備登録区分				
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
復水貯蔵タンク	原子炉冷却系統施設	7 原子炉冷却材補給設備	(2) 容器	3.7.2 補給水系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	木 容器(常設)	7.3.(6).b 原子炉格納容器下部注水系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	木 容器(常設)	7.3.(6).c 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	木 容器(常設)	7.3.(6).e 高圧代替注水系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	木 容器(常設)	7.3.(6).f 低圧代替注水系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所
原子炉補機冷却水サージタンク(A)	原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(5) 容器(常設)	3.8.1 原子炉補機冷却水系(原子炉補機冷却海水系を含む。)	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(5) 容器(常設)	3.8.3 原子炉補機代替冷却水系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所
原子炉補機冷却水サージタンク(B)	原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(5) 容器(常設)	3.8.1 原子炉補機冷却水系(原子炉補機冷却海水系を含む。)	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(5) 容器(常設)	3.8.3 原子炉補機代替冷却水系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所

要目表(機器)兼用先一覧【女川2号機】27/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分／機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分／機器区分		系統名称	設備別記載事項
ほう酸水注入系ポンプ	計測制御系統施設	4 ほう酸水注入設備	(1) ポンプ(常設)	4.4.1 ほう酸水注入系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(1) ポンプ(常設)	3.6.7 ほう酸水注入系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	ハ ポンプ(常設)	7.3.(6).g ほう酸水注入系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
ほう酸水注入系貯蔵タンク	計測制御系統施設	4 ほう酸水注入設備	(2) 容器(常設)	4.4.1 ほう酸水注入系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(2) 容器(常設)	3.6.7 ほう酸水注入系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	ホ 容器(常設)	7.3.(6).g ほう酸水注入系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所

要目表(機器)兼用先一覧【女川2号機】28/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
C41-F003A,B	計測制御系統施設	4 ほう酸水注入設備	(3) 安全弁及び逃がし弁(常設)	4.4.1 ほう酸水注入系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(5) 安全弁及び逃がし弁(常設)	3.6.7 ほう酸水注入系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	予 安全弁及び逃がし弁(常設)	7.3.(6).g ほう酸水注入系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
C41-F022	計測制御系統施設	4 ほう酸水注入設備	(3) 安全弁及び逃がし弁(常設)	4.4.1 ほう酸水注入系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(5) 安全弁及び逃がし弁(常設)	3.6.7 ほう酸水注入系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	予 安全弁及び逃がし弁(常設)	7.3.(6).g ほう酸水注入系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
高圧窒素ガスポンペ	計測制御系統施設	8 制御用空気設備	(2) 容器(可搬型)	4.8.1 高圧窒素ガス供給系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	計測制御系統施設	8 制御用空気設備	(2) 容器(可搬型)	4.8.2 代替高圧窒素ガス供給系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所
排気筒(支持構造物(鉄塔及び基礎)は第2.3号機共用)	放射性廃棄物の廃棄施設	2 気体、液体又は固体廃棄物処理設備	(16) 排気筒	5.2.1 気体廃棄物処理系	名称 種類 主要寸法 材料 個数	名称 種類 主要寸法 材料 個数	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	—	3.5.3 耐圧強化ベント系	— (流路として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	—	7.3.(7).a 非常用ガス処理系	— (流路として基本設計方針に記載)

要目表(機器) 兼用先一覧【女川2号機】29/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分						
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	
原子炉格納容器	原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(1) 原子炉格納容器本体	-	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 設計漏えい率 主要寸法 材料 個数	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 設計漏えい率 主要寸法 材料 個数	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	-	3.5.1 残留熱除去系	-	(注水先として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	-	3.5.2 原子炉格納容器フィルタベント系	-	(排出元として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	-	3.5.3 耐圧強化ベント系	-	(排出元として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.1 高圧炉心スプレイ系	-	(水源として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.2 低圧炉心スプレイ系	-	(水源として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.6 代替循環冷却系	-	(注水先として基本設計方針に記載)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	3.6.8 残留熱除去系	-	(注水先として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).b 原子炉格納容器下部注水系	-	(注水先として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).c 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系	-	(注水先として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).d 代替循環冷却系	-	(注水先として基本設計方針に記載)
原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).h 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	-	(注水先として基本設計方針に記載)							
原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	-	7.3.(6).i 残留熱除去系(サブプレッションプール水冷却モード)	-	(注水先として基本設計方針に記載)							

要目表(機器)兼用先一覧【女川2号機】30/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分						
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	
原子炉格納容器	原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(1) 原子炉格納容器本体	-	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 設計漏えい率 主要寸法 材料 個数	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 設計漏えい率 主要寸法 材料 個数	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	-	7.3.(7).f 可搬型窒素ガス供給装置系	-	(注入先として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	-	7.3.(7).g 原子炉格納容器フィルタベント系	-	(排出元として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	-	7.3.(9).a 原子炉格納容器フィルタベント系	-	(排出元として基本設計方針に記載)
原子炉建屋原子炉棟 (二次格納施設)	原子炉格納施設	2 原子炉建屋	(1) 原子炉建屋原子炉棟	-	名称 種類 設計気密度 主要寸法 材料 個数	名称 種類 設計気密度 主要寸法 材料 個数	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	-	7.3.(7).a 非常用ガス処理系	-	(流路として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	-	7.3.(7).c 原子炉建屋水素濃度抑制系	-	(流路として基本設計方針に記載)
原子炉建屋大物搬入口	原子炉格納施設	2 原子炉建屋	(2) 機器搬出入口	-	名称 主要寸法 個数 材料 取付箇所	名称 種類 主要寸法 個数	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	-	7.3.(7).a 非常用ガス処理系	-	(流路として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	-	7.3.(7).c 原子炉建屋水素濃度抑制系	-	(流路として基本設計方針に記載)
							その他発電用原子炉の附属施設 5 浸水防護施設	2 内郭浸水防護設備	(1) 防水区画構造物	8.5.2 内郭浸水防護設備	名称 種類 主要寸法 材料 取付箇所	

要目表(機器) 兼用先一覧【女川2号機】31/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分								
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項			
原子炉建屋エアロック	原子炉格納施設	2 原子炉建屋	(3) エアロック	-	名称 種類 設計気密度 主要寸法 材料 個数	名称 種類 設計気密度 主要寸法 材料 個数	原子炉格納施設	-	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	7.3.(7).a 非常用ガス処理系	-	-	(流路として基本設計方針に記載)	
							原子炉格納施設							3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備
代替循環冷却ポンプ	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	ハ ポンプ(常設)	7.3.(6).d 代替循環冷却系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	原子炉冷却系統施設	-	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(1) ポンプ(常設)	3.6.6 代替循環冷却系	-	-	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所
							原子炉格納施設		3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	ハ ポンプ(常設)				3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備

要目表(機器) 兼用先一覧【女川2号機】32/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分	系統名称	設備別記載事項	
E11-F084	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	チ 安全弁及び逃がし弁 (常設)	7.3.(6).d 代替循環冷却系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(5) 安全弁及び逃がし弁 (常設)	3.6.6 代替循環冷却系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	チ 安全弁及び逃がし弁 (常設)	7.3.(6).b 原子炉格納容器下部注水系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
E11-F085	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	チ 安全弁及び逃がし弁 (常設)	7.3.(6).d 代替循環冷却系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(5) 安全弁及び逃がし弁 (常設)	3.6.6 代替循環冷却系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	チ 安全弁及び逃がし弁 (常設)	7.3.(6).b 原子炉格納容器下部注水系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所

要目表(機器)兼用先一覧【女川2号機】33/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分／機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分／機器区分	系統名称	設備別記載事項	
大容量送水ポンプ(タイプⅡ)	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ハ ポンプ(可搬型)	7.3.(7).d 放射性物質拡散抑制系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(2) ポンプ(可搬型)	2.4.4 放射性物質拡散抑制系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(1) ポンプ(可搬型)	3.6.9 代替水源移送系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ハ ポンプ(可搬型)	7.3.(7).e 放射性物質拡散抑制系(航空機燃料火災への泡消火)	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所

要目表(機器) 兼用先一覧【女川2号機】34/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
可搬型窒素ガス供給装置	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	二 圧縮機(可搬型)	7.3.(7).f 可搬型窒素ガス供給系	名称 種類 容量 吐出圧力 主要寸法 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	名称 種類 容量 吐出圧力 主要寸法 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	—	3.5.2 原子炉格納容器フィルタベント系	— (窒素供給機能として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	二 圧縮機(可搬型)	7.3.(7).g 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 種類 容量 吐出圧力 主要寸法 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	—	7.3.(9).a 原子炉格納容器フィルタベント系	— (窒素供給機能として基本設計方針に記載)
T63-F006	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	リ 安全弁及び逃がし弁(常設)	7.3.(7).g 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(6) 安全弁及び逃がし弁(常設)	3.5.2 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所

要目表(機器)兼用先一覧【女川2号機】35/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
T48-F019	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (8) 原子炉格納容器調気設備	二 主要弁	7.3.(8).a 原子炉格納容器調気系	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(7) 主要弁(常設)	3.5.2 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
							原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	—	3.5.3 耐圧強化ベント系	— (SA時操作弁として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ヌ 主要弁(常設)	7.3.(7).g 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	ロ 主要弁(常設)	7.3.(9).a 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
T48-F020	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (8) 原子炉格納容器調気設備	二 主要弁	7.3.(8).a 原子炉格納容器調気系	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	—	3.5.2 原子炉格納容器フィルタベント系	— (SA時操作弁として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	—	7.3.(9).a 原子炉格納容器フィルタベント系	— (SA時操作弁として基本設計方針に記載)

要目表(機器) 兼用先一覧【女川2号機】36/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
T48-F021	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (8) 原子炉格納容器調気設備	二 主要弁	7.3.(8).a 原子炉格納容器調気系	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	—	3.5.2 原子炉格納容器フィルタベント系	— (SA時操作弁として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	—	7.3.(9).a 原子炉格納容器フィルタベント系	— (SA時操作弁として基本設計方針に記載)
T48-F022	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (8) 原子炉格納容器調気設備	二 主要弁	7.3.(8).a 原子炉格納容器調気系	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(7) 主要弁(常設)	3.5.2 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
							原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	—	3.5.3 耐圧強化ベント系	— (SA時操作弁として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	又 主要弁(常設)	7.3.(7).g 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	□ 主要弁(常設)	7.3.(9).a 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所

要目表(機器) 兼用先一覧【女川2号機】37/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分	系統名称	設備別記載事項	
T63-F001	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	□ 主要弁(常設)	7.3.(9).a 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(7) 主要弁(常設)	3.5.2 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	又 主要弁(常設)	7.3.(7).g 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
T63-F002	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	□ 主要弁(常設)	7.3.(9).a 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(7) 主要弁(常設)	3.5.2 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	又 主要弁(常設)	7.3.(7).g 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
フィルタ装置出口側ラブリチャディスク	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	ハ 圧力開放板	7.3.(9).a 原子炉格納容器フィルタベント系	設定破裂圧力 主要寸法 材料 個数 取付箇所	設定破裂圧力 主要寸法 材料 個数 取付箇所	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	—	3.5.2 原子炉格納容器フィルタベント系	— (圧力開放板機能として基本設計方針に記載)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	—	7.3.(7).g 原子炉格納容器フィルタベント系	— (圧力開放板機能として基本設計方針に記載)

要目表(機器) 兼用先一覧【女川2号機】38/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
フィルタ装置	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	イ 容器(常設)	7.3.(9).a 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	—	3.5.2 原子炉格納容器フィルタベント系	— (容器機能として基本設計方針に記載)
			原子炉格納施設				3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	へ 容器(常設)	7.3.(7).g 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	
	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	へ フィルター(常設)	7.3.(9).a 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 種類 効率 主要寸法 個数 取付箇所	名称 種類 効率 主要寸法 個数 取付箇所	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	—	3.5.2 原子炉格納容器フィルタベント系	— (フィルター機能として基本設計方針に記載)
			原子炉格納施設				3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	タ フィルター(常設)	7.3.(7).g 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 種類 効率 主要寸法 個数 取付箇所	

要目表(機器) 兼用先一覧【女川2号機】39/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分	系統名称	設備別記載事項	
非常用ディーゼル発電設備軽油タンク	その他発電用原子炉の附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	□ 容器(常設)	8.1.2.1 非常用ディーゼル発電設備	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	その他発電用原子炉の附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	□ 容器(常設)	8.1.2.3 ガスタービン発電設備	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所
							その他発電用原子炉の附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	□ 容器(常設)	8.1.2.4 可搬型代替交流電源設備	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所
							その他発電用原子炉の附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	□ 容器(常設)	8.1.2.5 可搬型代替直流電源設備	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所
							その他発電用原子炉の附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	□ 容器(常設)	8.1.2.7 可搬型窒素ガス供給装置発電設備	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所
							その他発電用原子炉の附属施設 6 補機駆動用燃料設備	1 燃料設備	(2) 容器(常設)	8.6.1 補機駆動用燃料設備	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所

要目表(機器) 兼用先一覧【女川2号機】40/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分	系統名称	設備別記載事項	
高圧炉心スプレイ系 ディーゼル発電設備軽 油タンク	その他発電用原子炉の 附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	□ 容器(常設)	8.1.2.2 高圧炉心スプレ イ系ディーゼル発電設 備	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	その他発電用原子炉の 附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	□ 容器(常設)	8.1.2.3 ガスタービン発 電設備	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所
							その他発電用原子炉の 附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	□ 容器(常設)	8.1.2.4 可搬型代替交流 電源設備	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所
							その他発電用原子炉の 附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	□ 容器(常設)	8.1.2.5 可搬型代替直流 電源設備	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所
							その他発電用原子炉の 附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	□ 容器(常設)	8.1.2.7 可搬型窒素ガス 供給装置発電設備	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所
							その他発電用原子炉の 附属施設 6 補機駆動用燃料設備	1 燃料設備	(2) 容器(常設)	8.6.1 補機駆動用燃料 設備	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所

要目表(機器)兼用先一覧【女川2号機】41/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
ガスタービン発電設備 軽油タンク	その他発電用原子炉の 附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	□ 容器(常設)	8.1.2.3 ガスタービン発 電設備	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	その他発電用原子炉の 附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	□ 容器(常設)	8.1.2.4 可搬型代替交流 電源設備	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所
							その他発電用原子炉の 附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	□ 容器(常設)	8.1.2.5 可搬型代替直 流電源設備	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所
							その他発電用原子炉の 附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	□ 容器(常設)	8.1.2.7 可搬型窒素ガス 供給装置発電設備	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所
							その他発電用原子炉の 附属施設 6 補機駆動用燃料設備	1 燃料設備	(2) 容器(常設)	8.6.1 補機駆動用燃料 設備	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所
電源車(内燃機関)	その他発電用原子炉の 附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (2) 内燃機関	イ 機関(可搬型)	8.1.2.4 可搬型代替交流 電源設備	名称 種類 出力 回転速度 燃料の種類 使用量 個数 取付箇所 過給機の種類 出口の圧力 回転速度 個数 取付箇所	名称 種類 出力 回転速度 燃料の種類 使用量 個数 取付箇所 過給機の種類 出口の圧力 回転速度 個数 取付箇所	その他発電用原子炉の 附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (2) 内燃機関	イ 機関(可搬型)	8.1.2.5 可搬型代替直 流電源設備	名称 種類 出力 回転速度 燃料の種類 使用量 個数 取付箇所 過給機の種類 出口の圧力 回転速度 個数 取付箇所
電源車(調速装置)	その他発電用原子炉の 附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (2) 内燃機関	□ 調速装置及び非常 調速装置	8.1.2.4 可搬型代替交流 電源設備	名称 種類	名称 種類	その他発電用原子炉の 附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (2) 内燃機関	□ 調速装置及び非常 調速装置	8.1.2.5 可搬型代替直 流電源設備	名称 種類
電源車(非常調速装置)	その他発電用原子炉の 附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (2) 内燃機関	□ 調速装置及び非常 調速装置	8.1.2.4 可搬型代替交流 電源設備	名称 種類	名称 種類	その他発電用原子炉の 附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (2) 内燃機関	□ 調速装置及び非常 調速装置	8.1.2.5 可搬型代替直 流電源設備	名称 種類

要目表(機器)兼用先一覧【女川2号機】42/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
電源車(冷却水ポンプ)	その他発電用原子炉の附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (2) 内燃機関	ハ 内燃機関に附属する冷却水設備(可搬型)	8.1.2.4 可搬型代替交流電源設備	名称 種類 容量 個数 取付箇所	名称 種類 容量 個数 取付箇所	その他発電用原子炉の附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (2) 内燃機関	ハ 内燃機関に附属する冷却水設備(可搬型)	8.1.2.5 可搬型代替直流電源設備	名称 種類 容量 個数 取付箇所
電源車(燃料タンク)	その他発電用原子炉の附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (2) 内燃機関	ホ 燃料デイトンク又はサービスタンク(可搬型)	8.1.2.4 可搬型代替交流電源設備	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	その他発電用原子炉の附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (2) 内燃機関	ホ 燃料デイトンク又はサービスタンク(可搬型)	8.1.2.5 可搬型代替直流電源設備	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所
電源車(発電機)	その他発電用原子炉の附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (5) 発電機	イ 発電機(可搬型)	8.1.2.4 可搬型代替交流電源設備	名称 種類 容量 主要寸法 力率 電圧 相 周波数 回転速度 結線法 冷却法 個数 取付箇所	名称 種類 容量 主要寸法 力率 電圧 相 周波数 回転速度 結線法 冷却法 個数 取付箇所	その他発電用原子炉の附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (5) 発電機	イ 発電機(可搬型)	8.1.2.5 可搬型代替直流電源設備	名称 種類 容量 主要寸法 力率 電圧 相 周波数 回転速度 結線法 冷却法 個数 取付箇所
							その他発電用原子炉の附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (5) 発電機	イ 発電機(可搬型)	8.1.2.6 緊急時対策所 ディーゼル発電設備 ※1	名称 種類 容量 主要寸法 力率 電圧 相 周波数 回転速度 結線法 冷却法 個数 取付箇所
電源車(励磁装置)	その他発電用原子炉の附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (5) 発電機	ロ 励磁装置(可搬型)	8.1.2.4 可搬型代替交流電源設備	名称 種類 容量 個数 取付箇所	名称 種類 容量 個数 取付箇所	その他発電用原子炉の附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (5) 発電機	ロ 励磁装置(可搬型)	8.1.2.5 可搬型代替直流電源設備	名称 種類 容量 個数 取付箇所
電源車(保護継電装置)	その他発電用原子炉の附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (5) 発電機	ハ 保護継電装置	8.1.2.4 可搬型代替交流電源設備	名称 種類	名称 種類	その他発電用原子炉の附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (5) 発電機	ハ 保護継電装置	8.1.2.5 可搬型代替直流電源設備	名称 種類

要目表(機器)兼用先一覧【女川2号機】43/43

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
タンクローリ	その他発電用原子炉の 附属施設 6 補機駆動用燃料設備	1 燃料設備	(2) 容器(可搬型)	8.6.1 燃料設備	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)	その他発電用原子炉の 附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	□ 容器(可搬型)	8.1.2.3 ガスタービン発 電設備	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							その他発電用原子炉の 附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	□ 容器(可搬型)	8.1.2.4 可搬型代替交流 電源設備	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							その他発電用原子炉の 附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	□ 容器(可搬型)	8.1.2.5 可搬型代替直流 電源設備	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							その他発電用原子炉の 附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	□ 容器(可搬型)	8.1.2.7 可搬型窒素ガス 供給装置発電設備	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
貯留堰 (No.1),(No.2),(No.3),(No. 4),(No.5),(No.6)	その他発電用原子炉の 附属施設 7 非常用取水設備	1 取水設備(非常用の 冷却用海水を確保する 構築物に限る。)	—	8.7.1 取水設備	名称 種類 容量 主要寸法 材料 個数	名称 種類 容量 主要寸法 材料 個数	その他発電用原子炉の 附属施設 5 浸水防護施設	1 外郭浸水防護設備	—	8.5.1 外郭浸水防護設 備	名称 種類 主要寸法 材料

※1 予備1個については可搬型代替交流電源設備、可搬型代替直流電源設備及び緊急時対策所ディーゼル発電設備と兼用する。

要目表(配管貫通部) 兼用先一覧【女川2号機】1/11

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分／機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分／機器区分	系統名称	設備別記載事項	
原子炉格納容器配管貫通部(X-12A)	原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	-	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.3 高压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
						名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).e 高压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器配管貫通部(X-12B)	原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	-	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.4 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器配管貫通部(X-20)	原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	-	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	計測制御系統施設	3 制御材駆動装置 (2) 制御棒駆動水圧設備	木 主配管(常設)	4.3.(2).(2.1) 制御棒駆動水圧系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器配管貫通部(X-21)	原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	-	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	計測制御系統施設	3 制御材駆動装置 (2) 制御棒駆動水圧設備	木 主配管(常設)	4.3.(2).(2.1) 制御棒駆動水圧系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管貫通部) 兼用先一覧【女川2号機】2/11

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
原子炉格納容器配管貫通部(X-22)	原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	-	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.7 ほう酸水注入系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							計測制御系統施設	4 ほう酸水注入設備	(5) 主配管(常設)	4.4.1 ほう酸水注入系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).g ほう酸水注入系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器配管貫通部(X-30A)	原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	-	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).c 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).d 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器配管貫通部(X-30B)	原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	-	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).c 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管貫通部) 兼用先一覧【女川2号機】3/11

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分／機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分／機器区分		系統名称	設備別記載事項
原子炉格納容器配管貫通部(X-31A)	原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	—	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.5 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).d 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).f 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器配管貫通部(X-31B)	原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	—	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.5 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).d 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).f 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管貫通部) 兼用先一覧【女川2号機】4/11

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分／機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分／機器区分	系統名称	設備別記載事項	
原子炉格納容器配管貫通部(X-31C)	原子炉格納施設	1	原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	—	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器配管貫通部(X-32A)	原子炉格納施設	1	原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	—	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器配管貫通部(X-32B)	原子炉格納施設	1	原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	—	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器配管貫通部(X-33A)	原子炉格納施設	1	原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	—	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器配管貫通部(X-33B)	原子炉格納施設	1	原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	—	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管貫通部) 兼用先一覧【女川2号機】5/11

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分／機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分／機器区分		系統名称	設備別記載事項
原子炉格納容器配管貫通部(X-34)	原子炉格納施設	1	原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	—	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.2 低圧炉心スプレイ系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器配管貫通部(X-35)	原子炉格納施設	1	原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	—	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.1 高圧炉心スプレイ系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.5 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器配管貫通部(X-36)	原子炉格納施設	1	原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	—	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.3 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.4 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).e 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器配管貫通部(X-72A)	原子炉格納施設	1	原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	—	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	計測制御系統施設	8 制御用空気設備	(5) 主配管(常設)	4.8.1 高圧窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管貫通部) 兼用先一覧【女川2号機】6/11

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
原子炉格納容器配管貫通部(X-72B)	原子炉格納施設	1	原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	計測制御系統施設	8 制御用空気設備	(5) 主配管(常設)	4.8.1 高圧窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器配管貫通部(X-80)	原子炉格納施設	1	原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.2 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管(常設)	7.3.(7).f 可搬型窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管(常設)	7.3.(7).g 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	二 主配管(常設)	7.3.(9).a 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器配管貫通部(X-81)	原子炉格納施設	1	原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.2 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.3 耐圧強化ベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管(常設)	7.3.(7).g 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	二 主配管(常設)	7.3.(9).a 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管貫通部) 兼用先一覧【女川2号機】7/11

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分／機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分／機器区分		系統名称	設備別記載事項
原子炉格納容器配管貫通部(X-91)	原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	-	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	原子炉冷却系統施設	4 原子炉冷却材の循環設備	(8) 主配管	3.4.1 主蒸気系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							計測制御系統施設	8 制御用空気設備	(5) 主配管(常設)	4.8.1 高圧窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							計測制御系統施設	8 制御用空気設備	(5) 主配管(常設)	4.8.2 代替高圧窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器配管貫通部(X-92)	原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	-	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).b 原子炉格納容器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器配管貫通部(X-106B)	原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	-	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	原子炉冷却系統施設	4 原子炉冷却材の循環設備	(8) 主配管	3.4.1 主蒸気系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							計測制御系統施設	8 制御用空気設備	(5) 主配管(常設)	4.8.1 高圧窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管貫通部) 兼用先一覧【女川2号機】8/11

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分／機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分／機器区分		系統名称	設備別記載事項
							計測制御系統施設	8 制御用空気設備	(5) 主配管(常設)	4.8.2 代替高压窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器配管貫通部(X-213A)	原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	-	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設		3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)
原子炉格納容器配管貫通部(X-213B)	原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	-	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設		3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)
原子炉格納容器配管貫通部(X-214A)	原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	-	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).b 原子炉格納容器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).d 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管貫通部) 兼用先一覧【女川2号機】9/11

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分						
	施設区分	設備区分／機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分／機器区分	系統名称	設備別記載事項		
原子炉格納容器配管貫通部(X-214A)	原子炉格納施設	1	原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	-	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	原子炉格納施設	又 主配管(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料		
						名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	原子炉格納施設			7.3.(6).i 残留熱除去系(サブプレッションプール水冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	
原子炉格納容器配管貫通部(X-214B)	原子炉格納施設	1	原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	-	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	原子炉冷却系統施設	又 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料		
							原子炉冷却系統施設			6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	7.3.(6).i 残留熱除去系(サブプレッションプール水冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設			3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	7.3.(6).h 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設			3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	7.3.(6).i 残留熱除去系(サブプレッションプール水冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器配管貫通部(X-214C)	原子炉格納施設	1	原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	-	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	原子炉冷却系統施設	又 主配管(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料		
原子炉格納容器配管貫通部(X-215A)	原子炉格納施設	1	原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	-	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	原子炉冷却系統施設	又 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料		
							原子炉格納施設			3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	7.3.(6).i 残留熱除去系(サブプレッションプール水冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管貫通部) 兼用先一覧【女川2号機】10/11

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分／機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分／機器区分	系統名称	設備別記載事項	
原子炉格納容器配管貫通部(X-215B)	原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	-	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
						名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).i 残留熱除去系(サプレッションプール水冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器配管貫通部(X-217)	原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	-	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.2 低圧炉心スプレイ系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器配管貫通部(X-219)	原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	-	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.1 高圧炉心スプレイ系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器配管貫通部(X-222)	原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	-	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.3 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.4 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).e 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管貫通部) 兼用先一覧【女川2号機】11/11

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
原子炉格納容器配管貫通部(X-230)	原子炉格納施設	1	原子炉格納容器	-	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.2 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.3 耐圧強化ベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管(常設)	7.3.(7).g 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	二 主配管(常設)	7.3.(9).a 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器配管貫通部(X-281)	原子炉格納施設	1	原子炉格納容器	-	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料 外径 厚さ	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.2 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管(常設)	7.3.(7).f 可搬型窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管(常設)	7.3.(7).g 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	二 主配管(常設)	7.3.(9).a 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】1/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分	系統名称	設備別記載事項	
取水用ホース(250A: 5m,10m,20m)	核燃料物質の取扱施設 及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷 却浄化設備	(8) 主配管(スプレィヘッ ダを含む。)(可搬型)	2.4.2 燃料プール代替 注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)	核燃料物質の取扱施設 及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷 却浄化設備	(8) 主配管(スプレィヘッ ダを含む。)(可搬型)	2.4.3 燃料プールスプレ ィ系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							核燃料物質の取扱施設 及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷 却浄化設備	(8) 主配管(スプレィヘッ ダを含む。)(可搬型)	2.4.4 放射性物質拡散 抑制系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.2 原子炉格納容器 フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(可搬型)	3.6.5 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(可搬型)	3.6.9 代替水源移送系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(9) 主配管(可搬型)	3.8.3 原子炉補機代替 冷却水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】2/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
取水用ホース(250A: 5m,10m,20m)	核燃料物質の取扱施設 及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷 却浄化設備	(8) 主配管(スプレイヘッ ダを含む。)(可搬型)	2.4.2 燃料プール代替 注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他 の安全設備 (6) 原子炉格納容器安 全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).b 原子炉格納容 器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他 の安全設備 (6) 原子炉格納容器安 全設備	又 主配管(可搬型)	7.3.(6).c 原子炉格納容 器代替スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他 の安全設備 (6) 原子炉格納容器安 全設備	又 主配管(可搬型)	7.3.(6).f 低圧代替注水 系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他 の安全設備 (7) 放射性物質濃度制 御設備及び可燃性ガス 濃度制御設備並びに格 納容器再循環設備	ル 主配管(可搬型)	7.3.(7).d 放射性物質拡 散抑制系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他 の安全設備 (7) 放射性物質濃度制 御設備及び可燃性ガス 濃度制御設備並びに格 納容器再循環設備	ル 主配管(可搬型)	7.3.(7).e 放射性物質拡 散抑制系(航空機燃料 火災への泡消火)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他 の安全設備 (7) 放射性物質濃度制 御設備及び可燃性ガス 濃度制御設備並びに格 納容器再循環設備	ル 主配管(可搬型)	7.3.(7).g 原子炉格納容 器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他 の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	二 主配管(可搬型)	7.3.(9).a 原子炉格納容 器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】3/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分／機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分／機器区分	系統名称	設備別記載事項	
送水用ホース(300A: 2m,5m,10m,20m,50m)	核燃料物質の取扱施設 及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷 却浄化設備	(8) 主配管(スプレイヘッ ダを含む。)(可搬型)	2.4.2 燃料プール代替 注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)	核燃料物質の取扱施設 及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷 却浄化設備	(8) 主配管(スプレイヘッ ダを含む。)(可搬型)	2.4.3 燃料プールのスプレ イ系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							核燃料物質の取扱施設 及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷 却浄化設備	(8) 主配管(スプレイヘッ ダを含む。)(可搬型)	2.4.4 放射性物質拡散 抑制系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.2 原子炉格納容器 フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(可搬型)	3.6.5 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(可搬型)	3.6.9 代替水源移送系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(9) 主配管(可搬型)	3.8.3 原子炉補機代替 冷却水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】4/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
送水用ホース(300A: 2m,5m,10m,20m,50m)	核燃料物質の取扱施設 及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷 却浄化設備	(8) 主配管(スプレイヘッ ダを含む。)(可搬型)	2.4.2 燃料プール代替 注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の 安全設備 (6) 原子炉格納容器安 全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).b 原子炉格納容 器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の 安全設備 (6) 原子炉格納容器安 全設備	又 主配管(可搬型)	7.3.(6).c 原子炉格納容 器代替スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の 安全設備 (6) 原子炉格納容器安 全設備	又 主配管(可搬型)	7.3.(6).f 低圧代替注水 系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の 安全設備 (7) 放射性物質濃度制 御設備及び可燃性ガス 濃度制御設備並びに格 納容器再循環設備	ル 主配管(可搬型)	7.3.(7).d 放射性物質拡 散抑制系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他 の安全設備 (7) 放射性物質濃度制 御設備及び可燃性ガス 濃度制御設備並びに格 納容器再循環設備	ル 主配管(可搬型)	7.3.(7).e 放射性物質拡 散抑制系(航空機燃料 火災への泡消火)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他 の安全設備 (7) 放射性物質濃度制 御設備及び可燃性ガス 濃度制御設備並びに格 納容器再循環設備	ル 主配管(可搬型)	7.3.(7).g 原子炉格納容 器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】5/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
送水用ホース(300A: 2m,5m,10m,20m,50m)	核燃料物質の取扱施設 及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷 却浄化設備	(8) 主配管(スプレィヘッ ダを含む。)(可搬型)	2.4.2 燃料プール代替 注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その 他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	二 主配管(可搬型)	7.3.(9).a 原子炉格納容 器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
注水用ヘッド	核燃料物質の取扱施設 及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷 却浄化設備	(8) 主配管(スプレィヘッ ダを含む。)(可搬型)	2.4.2 燃料プール代替 注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)	核燃料物質の取扱施設 及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷 却浄化設備	(8) 主配管(スプレィヘッ ダを含む。)(可搬型)	2.4.3 燃料プールスプレ ィ系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.2 原子炉格納容器 フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(可搬型)	3.6.5 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(可搬型)	3.6.9 代替水源移送系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その 他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安 全設備	又 主配管(可搬型)	7.3.(6).b 原子炉格納容 器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】6/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分	系統名称	設備別記載事項	
注水用ヘッダ	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(8) 主配管(スプレイヘッダを含む。)(可搬型)	2.4.2 燃料プール代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(可搬型)	7.3.(6).c 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(可搬型)	7.3.(6).f 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管(可搬型)	7.3.(7).g 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	ニ 主配管(可搬型)	7.3.(9).a 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
送水用ホース(150A: 1m,2m,5m,10m,20m)	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(8) 主配管(スプレイヘッダを含む。)(可搬型)	2.4.2 燃料プール代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(8) 主配管(スプレイヘッダを含む。)(可搬型)	2.4.3 燃料プールスプレイ系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	(7) 主配管(可搬型)	3.6.5 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】7/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
送水用ホース(150A: 1m,2m,5m,10m,20m)	核燃料物質の取扱施設 及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷 却浄化設備	(8) 主配管(スプレィヘッ ダを含む。)(可搬型)	2.4.2 燃料プール代替 注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(可搬型)	3.6.9 代替水源移送系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他 の安全設備 (6) 原子炉格納容器安 全設備	又 主配管(可搬型)	7.3.(6).b 原子炉格納容 器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他 の安全設備 (6) 原子炉格納容器安 全設備	又 主配管(可搬型)	7.3.(6).c 原子炉格納容 器代替スプレィ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他 の安全設備 (6) 原子炉格納容器安 全設備	又 主配管(可搬型)	7.3.(6).f 低圧代替注水 系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
原子炉圧力容器～残留 熱除去系原子炉停止時 冷却モード吸込配管分 岐点	原子炉冷却系統施設	3 原子炉冷却材再循環 設備	(3) 主配管	3.3.1 原子炉再循環系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
残留熱除去系原子炉停 止時冷却モードA系注入 配管合流点～原子炉圧 力容器	原子炉冷却系統施設	3 原子炉冷却材再循環 設備	(3) 主配管	3.3.1 原子炉再循環系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】8/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分						兼用する施設・設備登録区分				
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
残留熱除去系原子炉停止時冷却モードB系注入配管合流点～原子炉压力容器	原子炉冷却系統施設	3 原子炉冷却材再循環設備	(3) 主配管	3.3.1 原子炉再循環系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
残留熱除去系原子炉停止時冷却モード吸込配管分岐点～E11-F014A,B	原子炉冷却系統施設	3 原子炉冷却材再循環設備	(3) 主配管	3.3.1 原子炉再循環系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
E11-F020A～残留熱除去系原子炉停止時冷却モードA系注入配管合流点	原子炉冷却系統施設	3 原子炉冷却材再循環設備	(3) 主配管	3.3.1 原子炉再循環系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
E11-F020B～残留熱除去系原子炉停止時冷却モードB系注入配管合流点	原子炉冷却系統施設	3 原子炉冷却材再循環設備	(3) 主配管	3.3.1 原子炉再循環系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉压力容器～原子炉隔離時冷却系蒸気配管分岐点	原子炉冷却系統施設	4 原子炉冷却材の循環設備	(8) 主配管	3.4.1 主蒸気系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.3 高压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.4 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).e 高压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
B21-F023A～主蒸気逃がし安全弁自動減圧機能用アキュムレータ(A)出口配管合流点	原子炉冷却系統施設	4 原子炉冷却材の循環設備	(8) 主配管	3.4.1 主蒸気系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	計測制御系統施設	8 制御用空気設備	(5) 主配管(常設)	4.8.1 高压窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】9/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分						兼用する施設・設備登録区分				
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
B21-F023C～主蒸気逃がし安全弁自動減圧機能用アキュムレータ(C)出口配管合流点	原子炉冷却系統施設	4 原子炉冷却材の循環設備	(8) 主配管	3.4.1 主蒸気系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	計測制御系統施設	8 制御用空気設備	(5) 主配管(常設)	4.8.1 高圧窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
B21-F023E～主蒸気逃がし安全弁自動減圧機能用アキュムレータ(E)出口配管合流点	原子炉冷却系統施設	4 原子炉冷却材の循環設備	(8) 主配管	3.4.1 主蒸気系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	計測制御系統施設	8 制御用空気設備	(5) 主配管(常設)	4.8.1 高圧窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
B21-F023H～主蒸気逃がし安全弁自動減圧機能用アキュムレータ(H)出口配管合流点	原子炉冷却系統施設	4 原子炉冷却材の循環設備	(8) 主配管	3.4.1 主蒸気系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	計測制御系統施設	8 制御用空気設備	(5) 主配管(常設)	4.8.1 高圧窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
B21-F023J～主蒸気逃がし安全弁自動減圧機能用アキュムレータ(J)出口配管合流点	原子炉冷却系統施設	4 原子炉冷却材の循環設備	(8) 主配管	3.4.1 主蒸気系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	計測制御系統施設	8 制御用空気設備	(5) 主配管(常設)	4.8.1 高圧窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
B21-F023L～主蒸気逃がし安全弁自動減圧機能用アキュムレータ(L)出口配管合流点	原子炉冷却系統施設	4 原子炉冷却材の循環設備	(8) 主配管	3.4.1 主蒸気系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	計測制御系統施設	8 制御用空気設備	(5) 主配管(常設)	4.8.1 高圧窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
主蒸気逃がし安全弁自動減圧機能用アキュムレータ(A)出口配管合流点～B21-F001A	原子炉冷却系統施設	4 原子炉冷却材の循環設備	(8) 主配管	3.4.1 主蒸気系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	計測制御系統施設	8 制御用空気設備	(5) 主配管(常設)	4.8.1 高圧窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
主蒸気逃がし安全弁自動減圧機能用アキュムレータ(C)出口配管合流点～B21-F001C	原子炉冷却系統施設	4 原子炉冷却材の循環設備	(8) 主配管	3.4.1 主蒸気系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	計測制御系統施設	8 制御用空気設備	(5) 主配管(常設)	4.8.1 高圧窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
主蒸気逃がし安全弁自動減圧機能用アキュムレータ(E)出口配管合流点～B21-F001E	原子炉冷却系統施設	4 原子炉冷却材の循環設備	(8) 主配管	3.4.1 主蒸気系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	計測制御系統施設	8 制御用空気設備	(5) 主配管(常設)	4.8.1 高圧窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】10/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分						兼用する施設・設備登録区分				
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
主蒸気逃がし安全弁自動減圧機能用アキュムレータ(H)出口配管合流点～B21-F001H	原子炉冷却系統施設	4 原子炉冷却材の循環設備	(8) 主配管	3.4.1 主蒸気系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	計測制御系統施設	8 制御用空気設備	(5) 主配管(常設)	4.8.1 高圧窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
主蒸気逃がし安全弁自動減圧機能用アキュムレータ(J)出口配管合流点～B21-F001J	原子炉冷却系統施設	4 原子炉冷却材の循環設備	(8) 主配管	3.4.1 主蒸気系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	計測制御系統施設	8 制御用空気設備	(5) 主配管(常設)	4.8.1 高圧窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
主蒸気逃がし安全弁自動減圧機能用アキュムレータ(L)出口配管合流点～B21-F001L	原子炉冷却系統施設	4 原子炉冷却材の循環設備	(8) 主配管	3.4.1 主蒸気系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	計測制御系統施設	8 制御用空気設備	(5) 主配管(常設)	4.8.1 高圧窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉冷却材浄化系A系注入配管合流点～原子炉格納容器配管貫通部(X-12A)	原子炉冷却系統施設	4 原子炉冷却材の循環設備	(8) 主配管	3.4.2 復水給水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.3 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).e 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器配管貫通部(X-12A)～原子炉圧力容器	原子炉冷却系統施設	4 原子炉冷却材の循環設備	(8) 主配管	3.4.2 復水給水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.3 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).e 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉冷却材浄化系B系注入配管合流点～原子炉格納容器配管貫通部(X-12B)	原子炉冷却系統施設	4 原子炉冷却材の循環設備	(8) 主配管	3.4.2 復水給水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	3.6.4 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器配管貫通部(X-12B)～原子炉圧力容器	原子炉冷却系統施設	4 原子炉冷却材の循環設備	(8) 主配管	3.4.2 復水給水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	3.6.4 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】11/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分	系統名称	設備別記載事項	
残留熱除去系ストレーナ(A)～原子炉格納容器配管貫通部(X-214A)	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).b 原子炉格納容器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).d 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系(格納容器スプレィ冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).i 残留熱除去系(サブプレッションプール水冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器配管貫通部(X-214A)～サブプレッションチェンバ出口配管A系合流点	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).b 原子炉格納容器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).d 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】12/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分				
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分	系統名称	設備別記載事項
原子炉格納容器配管貫通部(X-214A)～サブプレッションチェンバ出口配管A系合流点	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備 又 主配管(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備 又 主配管(常設)	7.3.(6).i 残留熱除去系(サブプレッションプール水冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
サブプレッションチェンバ出口配管A系合流点～代替循環冷却系吸込配管分岐点	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備 (7) 主配管(常設)	3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備 (7) 主配管(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備 又 主配管(常設)	7.3.(6).b 原子炉格納容器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備 又 主配管(常設)	7.3.(6).d 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備 又 主配管(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備 又 主配管(常設)	7.3.(6).i 残留熱除去系(サブプレッションプール水冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】13/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分	系統名称	設備別記載事項	
残留熱除去系ポンプ(A)～代替循環冷却系注入配管合流点	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).i 残留熱除去系(サブプレッションプール水冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
代替循環冷却系注入配管合流点～残留熱除去系熱交換器(A)バイパス配管分岐点	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).b 原子炉格納容器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
代替循環冷却系注入配管合流点～残留熱除去系熱交換器(A)バイパス配管分岐点	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).d 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).i 残留熱除去系(サブプレッションプール水冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】14/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分／機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分／機器区分	系統名称	設備別記載事項	
残留熱除去系熱交換器(A)/バイパス配管分岐点～残留熱除去系熱交換器(A)	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).b 原子炉格納容器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).d 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).i 残留熱除去系(サブプレッションプール水冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】15/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分						
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	
残留熱除去系熱交換器(A)~残留熱除去系熱交換器代替循環冷却系出口配管分岐点	原子炉冷却系統施設	5	残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
								原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
								原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).b 原子炉格納容器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
								原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).d 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
								原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
								原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).i 残留熱除去系(サブプレッションプール水冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管) 兼用先一覧【女川2号機】16/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分	系統名称	設備別記載事項	
残留熱除去系熱交換器 代替循環冷却系出口配 管分岐点～残留熱除去 系熱交換器(A)バイパス 配管合流点	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他 の安全設備 (6) 原子炉格納容器安 全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).b 原子炉格納容 器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他 の安全設備 (6) 原子炉格納容器安 全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).d 代替循環冷却 系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他 の安全設備 (6) 原子炉格納容器安 全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系 (格納容器スプレィ冷却 モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他 の安全設備 (6) 原子炉格納容器安 全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).i 残留熱除去系 (サブプレッションプール水 冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
残留熱除去系熱交換器 (A)バイパス配管分岐点 ～残留熱除去系熱交換 器(A)バイパス配管合流 点	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他 の安全設備 (6) 原子炉格納容器安 全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).b 原子炉格納容 器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管) 兼用先一覧【女川2号機】17/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分	系統名称	設備別記載事項	
残留熱除去系熱交換器(A)バイパス配管合流点 ～原子炉停止時冷却モードA系注入配管分岐点	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).d 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).i 残留熱除去系(サブプレッションプール水冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉停止時冷却モードA系注入配管分岐点 ～ドライウェルススプレイ注入配管A系分岐点	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).d 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】18/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
ドライウェルスプレイ注入配管A系分岐点～低圧代替注水系A系注入配管合流点	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).c 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).d 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
低圧代替注水系A系注入配管合流点～原子炉格納容器配管貫通部(X-31A)	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.5 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).d 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).f 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】19/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分	系統名称	設備別記載事項	
原子炉格納容器配管貫通部(X-31A)～原子炉圧力容器	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.5 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).d 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).f 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉停止時冷却モードA系注入配管分岐点～サブプレッションプール水冷却モードA系戻り配管分岐点	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).i 残留熱除去系(サブプレッションプール水冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
サブプレッションプール水冷却モードA系戻り配管分岐点～サブプレッションチェンバースプレイ注入配管A系分岐点	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】20/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
ドライウェルスプレイ注入配管A系分岐点～原子炉格納容器代替スプレイ冷却系A系注入配管合流点	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).c 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).d 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器代替スプレイ冷却系A系注入配管合流点～原子炉格納容器配管貫通部(X-30A)	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).c 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).d 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
サブプレッションプール水冷却モードA系戻り配管分岐点～原子炉格納容器配管貫通部(X-215A)	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).i 残留熱除去系(サブプレッションプール水冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器配管貫通部(X-215A)～サブプレッションプール水冷却配管A系開放端	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).i 残留熱除去系(サブプレッションプール水冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管) 兼用先一覧【女川2号機】21/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
サブプレッションチェンバス スプレイ注入配管A系分岐 点～原子炉格納容器配 管貫通部(X-213A)	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その 他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安 全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却 モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
残留熱除去系ステー ナ(B)～原子炉格納容器 配管貫通部(X-214B)	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その 他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安 全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却 モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その 他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安 全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).i 残留熱除去系 (サブプレッションプール水 冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器配管貫 通部(X-214B)～サブ プレッションチェンバ出口 配管B系合流点	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その 他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安 全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却 モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その 他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安 全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).i 残留熱除去系 (サブプレッションプール水 冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】22/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分	系統名称	設備別記載事項	
サブプレッションチェンバ 出口配管B系合流点～ 残留熱除去系ポンプ(B)	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の 安全設備 (6) 原子炉格納容器安全 設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却 モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の 安全設備 (6) 原子炉格納容器安全 設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).i 残留熱除去系 (サブプレッションプール水 冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
残留熱除去系ポンプ(B) ～残留熱除去系熱交換 器(B)/バイパス配管分岐 点	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の 安全設備 (6) 原子炉格納容器安全 設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却 モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の 安全設備 (6) 原子炉格納容器安全 設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).i 残留熱除去系 (サブプレッションプール水 冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
残留熱除去系熱交換器 (B)/バイパス配管分岐点 ～残留熱除去系熱交換 器(B)	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の 安全設備 (6) 原子炉格納容器安全 設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却 モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の 安全設備 (6) 原子炉格納容器安全 設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).i 残留熱除去系 (サブプレッションプール水 冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】23/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
残留熱除去系熱交換器(B)～残留熱除去系熱交換器(B)バイパス配管合流点	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).i 残留熱除去系(サブプレッションプール水冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
残留熱除去系熱交換器(B)バイパス配管分岐点～残留熱除去系熱交換器(B)バイパス配管合流点	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
残留熱除去系熱交換器(B)バイパス配管合流点～原子炉停止時冷却モードB系注入配管分岐点	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).i 残留熱除去系(サブプレッションプール水冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉停止時冷却モードB系注入配管分岐点～ドライウエルスプレイ注入配管B系分岐点	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】24/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分	系統名称	設備別記載事項	
ドライウェルスプレイ注入配管B系分岐点～低圧代替注水系B系注入配管合流点	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).c 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
低圧代替注水系B系注入配管合流点～原子炉格納容器配管貫通部(X-31B)	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.5 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).d 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).f 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器配管貫通部(X-31B)～原子炉圧力容器	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.5 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).d 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).f 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】25/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
原子炉停止時冷却モードB系注入配管分岐点～サブプレッションプール水冷却モードB系戻り配管分岐点	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).i 残留熱除去系(サブプレッションプール水冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
サブプレッションプール水冷却モードB系戻り配管分岐点～サブプレッションチェンバススプレイ注入配管B系分岐点	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
ドライウェルススプレイ注入配管B系分岐点～原子炉格納容器代替スプレイ冷却系B系注入配管合流点	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).c 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器代替スプレイ冷却系B系注入配管合流点～原子炉格納容器配管貫通部(X-30B)	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).c 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
サブプレッションチェンバススプレイ注入配管B系分岐点～原子炉格納容器配管貫通部(X-213B)	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
サブプレッションプール水冷却モードB系戻り配管分岐点～原子炉格納容器配管貫通部(X-215B)	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).i 残留熱除去系(サブプレッションプール水冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】26/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分						兼用する施設・設備登録区分				
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
原子炉格納容器配管貫通部(X-215B)～サブレーションプール水冷却配管B系開放端	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6)i 残留熱除去系(サブレーションプール水冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
残留熱除去系ストレーナ(C)～原子炉格納容器配管貫通部(X-214C)	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器配管貫通部(X-214C)～残留熱除去系ポンプ(C)	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
残留熱除去系ポンプ(C)～原子炉格納容器配管貫通部(X-31C)	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器配管貫通部(X-31C)～原子炉圧力容器	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.8 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】27/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
E22-F014~補給水よりの第一アンカ	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.1 高压炉心スプレイ系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.3 高压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.4 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.5 低压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).b 原子炉格納容器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).c 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).e 高压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).f 低压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】28/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
補給水よりの第一アンカ ~復水貯蔵タンク出口 配管分岐点	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.1 高圧炉心スプレイ 系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.3 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.4 原子炉隔離時冷 却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.5 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他 の安全設備 (6) 原子炉格納容器安 全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).b 原子炉格納容 器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他 の安全設備 (6) 原子炉格納容器安 全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).c 原子炉格納容 器代替スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他 の安全設備 (6) 原子炉格納容器安 全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).e 高圧代替注水 系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他 の安全設備 (6) 原子炉格納容器安 全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).f 低圧代替注水 系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
復水貯蔵タンク出口配 管分岐点~直流駆動低 圧注水系ポンプ吸込配 管分岐点	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.1 高圧炉心スプレイ 系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.5 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
直流駆動低圧注水系ポ ンプ吐出配管合流点~ 原子炉格納容器配管貫 通部(X-35)	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.1 高圧炉心スプレイ 系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.5 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】29/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
原子炉格納容器配管貫通部(X-35)～原子炉圧力容器	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.1 高压炉心スプレイ系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.5 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
復水貯蔵タンク出口配管分岐点～低圧代替注水系吸込配管分岐点	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.1 高压炉心スプレイ系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.3 高压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.4 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.5 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).b 原子炉格納容器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).c 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).e 高压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).f 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】30/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分	系統名称	設備別記載事項	
低圧代替注水系吸込配管分岐点～高圧代替注水系吸込配管分岐点	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.1 高圧炉心スプレイ系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.3 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.4 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).e 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
高圧代替注水系吸込配管分岐点～E51-F001	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.1 高圧炉心スプレイ系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.4 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
高圧代替注水系蒸気入口配管分岐点～高圧代替注水系タービンポンプ	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.3 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).e 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
高圧代替注水系タービンポンプ～原子炉隔離時冷却系タービン排気配管合流点	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.3 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).e 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
高圧代替注水系吸込配管分岐点～高圧代替注水系タービンポンプ	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.3 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).e 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
高圧代替注水系タービンポンプ～高圧代替注水系注入配管合流点	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.3 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).e 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】31/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分	系統名称	設備別記載事項	
低圧代替注水系吸込配管分岐点～P13-F072	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.5 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).b 原子炉格納容器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).c 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).f 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
P13-F072～補給水系配管合流点	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.5 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).b 原子炉格納容器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).c 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).f 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
低圧代替注水系注入配管分岐点～低圧代替注水系注入配管B系分岐点	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.5 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).b 原子炉格納容器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).c 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).f 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】32/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分	系統名称	設備別記載事項	
低圧代替注水注入配管B系分岐点～低圧代替注水注入配管合流点2	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.5 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).b 原子炉格納容器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).c 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).d 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).f 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
低圧代替注水注入配管合流点2～原子炉格納容器下部注水注入配管分岐点	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.5 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).b 原子炉格納容器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).c 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).f 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器下部注水注入配管分岐点～低圧代替注水注入配管A系分岐点	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.5 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).b 原子炉格納容器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).c 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).f 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】33/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
低圧代替注水系注入配管A系分岐点～E11-F041	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.5 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).c 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).f 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
E11-F041～低圧代替注水系A系注入配管合流点	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.5 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).c 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).f 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
低圧代替注水系注入配管B系分岐点～E11-F026B	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.5 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).c 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).d 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).f 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】34/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
E11-F026B～低圧代替注水系B系注入配管合流点	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.5 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).c 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).d 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).f 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉・格納容器下部注水接続口(北)～低圧代替注水系注入配管A系分岐点	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.5 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).b 原子炉格納容器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).f 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉・格納容器下部注水接続口(東)～低圧代替注水系注入配管合流点1	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.5 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).b 原子炉格納容器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).f 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】35/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分	系統名称	設備別記載事項	
原子炉隔離時冷却系蒸気配管分岐点～原子炉格納容器配管貫通部(X-36)	原子炉冷却系統施設	7 原子炉冷却材補給設備	(5) 主配管	3.7.1 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.3 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.4 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).e 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器配管貫通部(X-36)～原子炉格納容器外側アンカ	原子炉冷却系統施設	7 原子炉冷却材補給設備	(5) 主配管	3.7.1 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.3 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.4 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).e 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器外側アンカ～高圧代替注水系蒸気入口配管分岐点	原子炉冷却系統施設	7 原子炉冷却材補給設備	(5) 主配管	3.7.1 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.3 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.4 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).e 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】36/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分						兼用する施設・設備登録区分				
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
高压代替注水系蒸気入口配管分岐点～原子炉隔離時冷却系ポンプ駆動用タービン	原子炉冷却系統施設	7 原子炉冷却材補給設備	(5) 主配管	3.7.1 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.4 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉隔離時冷却系ポンプ駆動用タービン～原子炉隔離時冷却系タービン排気配管合流点	原子炉冷却系統施設	7 原子炉冷却材補給設備	(5) 主配管	3.7.1 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.4 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉隔離時冷却系タービン排気配管合流点～原子炉格納容器配管貫通部(X-222)	原子炉冷却系統施設	7 原子炉冷却材補給設備	(5) 主配管	3.7.1 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.3 高压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.4 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).e 高压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器配管貫通部(X-222)～原子炉隔離時冷却系スパージャ	原子炉冷却系統施設	7 原子炉冷却材補給設備	(5) 主配管	3.7.1 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.3 高压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.4 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).e 高压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
E51-F001～原子炉隔離時冷却系ポンプ	原子炉冷却系統施設	7 原子炉冷却材補給設備	(5) 主配管	3.7.1 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.4 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】37/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分				
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分	系統名称	設備別記載事項
原子炉隔離時冷却系ポンプ～原子炉隔離時冷却系注入配管合流点	原子炉冷却系統施設	7 原子炉冷却材補給設備	(5) 主配管	3.7.1 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備 (7) 主配管(常設)	3.6.4 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
復水貯蔵タンク～E22-F014	原子炉冷却系統施設	7 原子炉冷却材補給設備	(5) 主配管	3.7.2 補給水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備 (7) 主配管(常設)	3.6.1 高圧炉心スプレイ系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備 (7) 主配管(常設)	3.6.3 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備 (7) 主配管(常設)	3.6.4 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備 (7) 主配管(常設)	3.6.5 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備 又 主配管(常設)	7.3.(6).b 原子炉格納容器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備 又 主配管(常設)	7.3.(6).c 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備 又 主配管(常設)	7.3.(6).e 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備 又 主配管(常設)	7.3.(6).f 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】38/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
補給水系配管合流点～復水移送ポンプ	原子炉冷却系統施設	7 原子炉冷却材補給設備	(5) 主配管	3.7.2 補給水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.5 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).b 原子炉格納容器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).c 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).f 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
復水移送ポンプ～低圧代替注水系注入配管分岐点	原子炉冷却系統施設	7 原子炉冷却材補給設備	(5) 主配管	3.7.2 補給水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.5 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).b 原子炉格納容器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).c 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).f 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉補機冷却水サージタンク(A)～原子炉補機冷却水サージタンク(A)出口配管合流点	原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(9) 主配管(常設)	3.8.1 原子炉補機冷却水系(原子炉補機冷却海水系を含む。)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(9) 主配管(常設)	3.8.3 原子炉補機代替冷却水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】39/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
残留熱除去系熱交換器(A)入口配管合流点~残留熱除去系熱交換器(A)	原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(9) 主配管(常設)	3.8.1 原子炉補機冷却水系(原子炉補機冷却海水系を含む。)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(9) 主配管(常設)	3.8.3 原子炉補機代替冷却水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
残留熱除去系熱交換器(A)~残留熱除去系熱交換器(A)出口配管分岐点	原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(9) 主配管(常設)	3.8.1 原子炉補機冷却水系(原子炉補機冷却海水系を含む。)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(9) 主配管(常設)	3.8.3 原子炉補機代替冷却水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
残留熱除去系熱交換器(A)出口配管分岐点~原子炉補機冷却水サージタンク(A)出口配管合流点	原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(9) 主配管(常設)	3.8.1 原子炉補機冷却水系(原子炉補機冷却海水系を含む。)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(9) 主配管(常設)	3.8.3 原子炉補機代替冷却水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
燃料プール冷却浄化系熱交換器(A)入口配管合流点~燃料プール冷却浄化系熱交換器(A)	原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(9) 主配管(常設)	3.8.1 原子炉補機冷却水系(原子炉補機冷却海水系を含む。)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(9) 主配管(常設)	3.8.3 原子炉補機代替冷却水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
燃料プール冷却浄化系熱交換器(A)~原子炉補機冷却水ポンプ(A),(C)入口配管合流点1	原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(9) 主配管(常設)	3.8.1 原子炉補機冷却水系(原子炉補機冷却海水系を含む。)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(9) 主配管(常設)	3.8.3 原子炉補機代替冷却水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉補機冷却水サージタンク(B)~原子炉補機冷却水サージタンク(B)出口配管合流点	原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(9) 主配管(常設)	3.8.1 原子炉補機冷却水系(原子炉補機冷却海水系を含む。)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(9) 主配管(常設)	3.8.3 原子炉補機代替冷却水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
残留熱除去系熱交換器(B)入口配管合流点~残留熱除去系熱交換器(B)	原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(9) 主配管(常設)	3.8.1 原子炉補機冷却水系(原子炉補機冷却海水系を含む。)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(9) 主配管(常設)	3.8.3 原子炉補機代替冷却水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
残留熱除去系熱交換器(B)~残留熱除去系熱交換器(B)出口配管分岐点	原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(9) 主配管(常設)	3.8.1 原子炉補機冷却水系(原子炉補機冷却海水系を含む。)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(9) 主配管(常設)	3.8.3 原子炉補機代替冷却水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
残留熱除去系熱交換器(B)出口配管分岐点~原子炉補機冷却水サージタンク(B)出口配管合流点	原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(9) 主配管(常設)	3.8.1 原子炉補機冷却水系(原子炉補機冷却海水系を含む。)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(9) 主配管(常設)	3.8.3 原子炉補機代替冷却水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】40/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
燃料プール冷却浄化系熱交換器(B)入口配管合流点～燃料プール冷却浄化系熱交換器(B)	原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(9) 主配管(常設)	3.8.1 原子炉補機冷却水系(原子炉補機冷却海水系を含む。)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(9) 主配管(常設)	3.8.3 原子炉補機代替冷却水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
燃料プール冷却浄化系熱交換器(B)～原子炉補機冷却水ポンプ(B),(D)入口配管合流点1	原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(9) 主配管(常設)	3.8.1 原子炉補機冷却水系(原子炉補機冷却海水系を含む。)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(9) 主配管(常設)	3.8.3 原子炉補機代替冷却水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
高圧代替注水系注入配管合流点～原子炉冷却材浄化系A系注入配管合流点	原子炉冷却系統施設	9 原子炉冷却材浄化設備	(6) 主配管	3.9.1 原子炉冷却材浄化系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.3 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).e 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉隔離時冷却系注入配管合流点～原子炉冷却材浄化系B系注入配管合流点	原子炉冷却系統施設	9 原子炉冷却材浄化設備	(6) 主配管	3.9.1 原子炉冷却材浄化系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.4 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
ほう酸水注入系貯蔵タンク～ほう酸水注入系ポンプ	計測制御系統施設	4 ほう酸水注入設備	(5) 主配管(常設)	4.4.1 ほう酸水注入系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.7 ほう酸水注入系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).g ほう酸水注入系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
ほう酸水注入系ポンプ～原子炉格納容器配管貫通部(X-22)	計測制御系統施設	4 ほう酸水注入設備	(5) 主配管(常設)	4.4.1 ほう酸水注入系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.7 ほう酸水注入系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).g ほう酸水注入系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】41/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分	系統名称	設備別記載事項	
原子炉格納容器配管貫通部(X-22)～差圧検出・ほう酸水注入系配管(テーパーよりN11ノズルまでの外管)	計測制御系統施設	4 ほう酸水注入設備	(5) 主配管(常設)	4.4.1 ほう酸水注入系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.7 ほう酸水注入系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).g ほう酸水注入系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
B21-F001A.L～原子炉格納容器配管貫通部(X-106B)	計測制御系統施設	8 制御用空気設備	(5) 主配管(常設)	4.8.1 高圧窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	4 原子炉冷却材の循環設備	(8) 主配管	3.4.1 主蒸気系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							計測制御系統施設	8 制御用空気設備	(5) 主配管(常設)	4.8.2 代替高圧窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器配管貫通部(X-106B)～代替高圧窒素ガス供給系A系窒素供給配管分岐点	計測制御系統施設	8 制御用空気設備	(5) 主配管(常設)	4.8.1 高圧窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	4 原子炉冷却材の循環設備	(8) 主配管	3.4.1 主蒸気系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							計測制御系統施設	8 制御用空気設備	(5) 主配管(常設)	4.8.2 代替高圧窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
代替高圧窒素ガス供給系A系窒素供給配管分岐点～原子炉格納容器配管貫通部(X-106B)	計測制御系統施設	8 制御用空気設備	(5) 主配管(常設)	4.8.1 高圧窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	4 原子炉冷却材の循環設備	(8) 主配管	3.4.1 主蒸気系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器配管貫通部(X-106B)～開放端	計測制御系統施設	8 制御用空気設備	(5) 主配管(常設)	4.8.1 高圧窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	4 原子炉冷却材の循環設備	(8) 主配管	3.4.1 主蒸気系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
B21-F001E.J～原子炉格納容器配管貫通部(X-91)	計測制御系統施設	8 制御用空気設備	(5) 主配管(常設)	4.8.1 高圧窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	4 原子炉冷却材の循環設備	(8) 主配管	3.4.1 主蒸気系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							計測制御系統施設	8 制御用空気設備	(5) 主配管(常設)	4.8.2 代替高圧窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】42/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分						兼用する施設・設備登録区分				
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
原子炉格納容器配管貫通部(X-91)～代替高压窒素ガス供給系B系窒素供給配管分岐点	計測制御系統施設	8 制御用空気設備	(5) 主配管(常設)	4.8.1 高压窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	4 原子炉冷却材の循環設備	(8) 主配管	3.4.1 主蒸気系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							計測制御系統施設	8 制御用空気設備	(5) 主配管(常設)	4.8.2 代替高压窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
代替高压窒素ガス供給系B系窒素供給配管分岐点～原子炉格納容器配管貫通部(X-91)	計測制御系統施設	8 制御用空気設備	(5) 主配管(常設)	4.8.1 高压窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	4 原子炉冷却材の循環設備	(8) 主配管	3.4.1 主蒸気系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器配管貫通部(X-91)～開放端	計測制御系統施設	8 制御用空気設備	(5) 主配管(常設)	4.8.1 高压窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	4 原子炉冷却材の循環設備	(8) 主配管	3.4.1 主蒸気系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
緊急対策室～資機材保管エリア	放射線管理施設	2 換気設備	(3) 主配管(常設)	6.2.4 緊急時対策所加圧空気供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	放射線管理施設	2 換気設備	(3) 主配管(常設)	6.2.2 緊急時対策所換気空調系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
ドライウェルスプレイ管	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).a 原子炉格納容器スプレイ系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).c 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).d 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】43/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分	系統名称	設備別記載事項	
サブプレッショントラップ スレイ管	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).a 原子炉格納容器スレイ系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).h 残留熱除去系(格納容器スレイ冷却モード)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
残留熱除去系熱交換器 代替循環冷却系出口配管分岐点～E11-F088	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).b 原子炉格納容器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).d 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
E11-F088～低圧代替注水系注入配管合流点2	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).b 原子炉格納容器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).d 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
代替循環冷却系吸込配管分岐点～代替循環冷却ポンプ	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).d 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).b 原子炉格納容器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】44/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
代替循環冷却ポンプ～代替循環冷却系注入配管合流点	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).d 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管(常設)	3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管(常設)	7.3.(6).b 原子炉格納容器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
非常用ガス処理系フィルタ装置出口配管合流点～排気筒	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管(常設)	7.3.(7).a 非常用ガス処理系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.3 耐圧強化ベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
放水砲	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管(可搬型)	7.3.(7).d 放射性物質拡散抑制系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(8) 主配管(可搬型)	2.4.4 放射性物質拡散抑制系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管(可搬型)	7.3.(7).e 放射性物質拡散抑制系(航空機燃料火災への泡消火)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】45/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
可搬型窒素ガス供給装置接続口(屋外)~T48-F011入口側合流点	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管(常設)	7.3.(7).f 可搬型窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.2 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管(常設)	7.3.(7).g 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	二 主配管(常設)	7.3.(9).a 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
可搬型窒素ガス供給装置接続口(屋内)~ドライウェル窒素供給配管合流点	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管(常設)	7.3.(7).f 可搬型窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.2 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管(常設)	7.3.(7).g 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	二 主配管(常設)	7.3.(9).a 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】46/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
ドライウェル窒素供給配管分岐点2~原子炉格納容器配管貫通部(X-281)	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管(常設)	7.3.(7).f 可搬型窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.2 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管(常設)	7.3.(7).g 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	二 主配管(常設)	7.3.(9).a 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
窒素供給用ホース(50A:5m)	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管(可搬型)	7.3.(7).f 可搬型窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(可搬型)	3.5.2 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管(可搬型)	7.3.(7).g 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	二 主配管(可搬型)	7.3.(9).a 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】47/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分	系統名称	設備別記載事項	
窒素供給用ヘッダ	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管(可搬型)	7.3.(7).f 可搬型窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(可搬型)	3.5.2 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管(可搬型)	7.3.(7).g 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	二 主配管(可搬型)	7.3.(9).a 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
可搬型窒素ガス供給装置接続管	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管(可搬型)	7.3.(7).f 可搬型窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(可搬型)	3.5.2 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管(可搬型)	7.3.(7).g 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	二 主配管(可搬型)	7.3.(9).a 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】48/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
T48-F002出口側合流点 ～原子炉格納容器配管貫通部(X-80)	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (8) 原子炉格納容器調気設備	木 主配管	7.3.(8).a 原子炉格納容器調気系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.2 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管(常設)	7.3.(7).f 可搬型窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管(常設)	7.3.(7).g 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	二 主配管(常設)	7.3.(9).a 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
T48-F011入口側合流点 ～T48-F002出口側合流点	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (8) 原子炉格納容器調気設備	木 主配管	7.3.(8).a 原子炉格納容器調気系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.2 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管(常設)	7.3.(7).f 可搬型窒素ガス供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管(常設)	7.3.(7).g 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	二 主配管(常設)	7.3.(9).a 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】49/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分	系統名称	設備別記載事項	
原子炉格納容器配管貫通部(X-81)～ドライウェル出口配管分岐点	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (8) 原子炉格納容器調気設備	ホ 主配管	7.3.(8).a 原子炉格納容器調気系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.2 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.3 耐圧強化ベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管(常設)	7.3.(7).g 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	二 主配管(常設)	7.3.(9).a 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉格納容器配管貫通部(X-230)～ドライウェル出口配管分岐点	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (8) 原子炉格納容器調気設備	ホ 主配管	7.3.(8).a 原子炉格納容器調気系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.2 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.3 耐圧強化ベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管(常設)	7.3.(7).g 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	二 主配管(常設)	7.3.(9).a 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】50/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
サブレーションチェンバ 出口配管分岐点3~フィル タ装置	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他 の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	二 主配管(常設)	7.3.(9).a 原子炉格納容 器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.2 原子炉格納容器 フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他 の安全設備 (7) 放射性物質濃度制 御設備及び可燃性ガス 濃度制御設備並びに格 納容器再循環設備	ル 主配管(常設)	7.3.(7).g 原子炉格納容 器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
フィルタ装置~フィルタ 装置出口側ラフチャディ スク	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他 の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	二 主配管(常設)	7.3.(9).a 原子炉格納容 器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.2 原子炉格納容器 フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他 の安全設備 (7) 放射性物質濃度制 御設備及び可燃性ガス 濃度制御設備並びに格 納容器再循環設備	ル 主配管(常設)	7.3.(7).g 原子炉格納容 器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
フィルタ装置出口側ラフ チャディスク~排気管	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他 の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	二 主配管(常設)	7.3.(9).a 原子炉格納容 器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.2 原子炉格納容器 フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他 の安全設備 (7) 放射性物質濃度制 御設備及び可燃性ガス 濃度制御設備並びに格 納容器再循環設備	ル 主配管(常設)	7.3.(7).g 原子炉格納容 器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
フィルタ装置(A)~フィル タ装置(B)	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他 の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	二 主配管(常設)	7.3.(9).a 原子炉格納容 器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.2 原子炉格納容器 フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他 の安全設備 (7) 放射性物質濃度制 御設備及び可燃性ガス 濃度制御設備並びに格 納容器再循環設備	ル 主配管(常設)	7.3.(7).g 原子炉格納容 器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
フィルタ装置(B)~フィル タ装置(C)	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他 の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	二 主配管(常設)	7.3.(9).a 原子炉格納容 器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.2 原子炉格納容器 フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他 の安全設備 (7) 放射性物質濃度制 御設備及び可燃性ガス 濃度制御設備並びに格 納容器再循環設備	ル 主配管(常設)	7.3.(7).g 原子炉格納容 器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】51/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
フィルタ装置連結管	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	二 主配管(常設)	7.3.(9).a 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.2 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管(常設)	7.3.(7).g 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
ドライウェル窒素供給配管分岐点1~T48-F066	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	二 主配管(常設)	7.3.(9).a 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.2 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管(常設)	7.3.(7).g 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
T48-F066~フィルタ装置入口配管合流点	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	二 主配管(常設)	7.3.(9).a 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.2 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管(常設)	7.3.(7).g 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
フィルタ装置水補給接続口(屋外)~フィルタ装置	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	二 主配管(常設)	7.3.(9).a 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.2 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管(常設)	7.3.(7).g 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】52/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
フィルタ装置水補給接続口(屋内)～フィルタ装置	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	二 主配管(常設)	7.3.(9).a 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(常設)	3.5.2 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管(常設)	7.3.(7).g 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
送水用ホース(65A・20m)	原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置	二 主配管(可搬型)	7.3.(9).a 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管(可搬型)	3.5.2 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管(可搬型)	7.3.(7).g 原子炉格納容器フィルタベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
非常用ディーゼル発電設備軽油タンク～燃料移送ポンプ入口配管分岐点	その他発電用原子炉の附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	二 主配管(常設)	8.1.2.1 非常用ディーゼル発電設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	その他発電用原子炉の附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	二 主配管(常設)	8.1.2.3 ガスタービン発電設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							その他発電用原子炉の附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	二 主配管(常設)	8.1.2.4 可搬型代替交流電源設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							その他発電用原子炉の附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	二 主配管(常設)	8.1.2.5 可搬型代替直流電源設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							その他発電用原子炉の附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	二 主配管(常設)	8.1.2.7 可搬型窒素ガス供給装置発電設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							その他発電用原子炉の附属施設 6 補機駆動用燃料設備	1 燃料設備	(4) 主配管(常設)	8.6.1 補機駆動用燃料設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管) 兼用先一覧【女川2号機】53/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
高圧炉心スプレイ系 ディーゼル発電設備軽 油タンク~高圧炉心ス プレイ系ディーゼル発電設 備燃料移送ポンプ入口 配管分岐点	その他発電用原子炉の 附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	二 主配管(常設)	8.1.2.2高圧炉心スプレ イ系ディーゼル発電設 備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	その他発電用原子炉の 附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	二 主配管(常設)	8.1.2.3 ガスタービン発 電設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							その他発電用原子炉の 附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	二 主配管(常設)	8.1.2.4 可搬型代替交流 電源設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							その他発電用原子炉の 附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	二 主配管(常設)	8.1.2.5 可搬型代替直流 電源設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							その他発電用原子炉の 附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	二 主配管(常設)	8.1.2.7 可搬型窒素ガス 供給装置発電設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							その他発電用原子炉の 附属施設 6 補機駆動用燃料設備	1 燃料設備	(4) 主配管(常設)	8.6.1 補機駆動用燃料 設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】54/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分／機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分／機器区分		系統名称	設備別記載事項
ガスタービン発電設備軽油タンク~ガスタービン発電設備軽油タンク出口配管分岐点	その他発電用原子炉の附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	二 主配管(常設)	8.1.2.3 ガスタービン発電設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	その他発電用原子炉の附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	二 主配管(常設)	8.1.2.4 可搬型代替交流電源設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							その他発電用原子炉の附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	二 主配管(常設)	8.1.2.5 可搬型代替直流電源設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							その他発電用原子炉の附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	二 主配管(常設)	8.1.2.7 可搬型窒素ガス供給装置発電設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							その他発電用原子炉の附属施設 6 補機駆動用燃料設備	1 燃料設備	(4) 主配管(常設)	8.6.1 補機駆動用燃料設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】55/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
燃料移送ポンプ入口配管分岐点～非常用ディーゼル発電設備軽油タンク払出口	その他発電用原子炉の附属施設 6 補機駆動用燃料設備	1 燃料設備	(4) 主配管(常設)	8.6.1 補機駆動用燃料設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	その他発電用原子炉の附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	二 主配管(常設)	8.1.2.3 ガスタービン発電設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							その他発電用原子炉の附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	二 主配管(常設)	8.1.2.4 可搬型代替交流電源設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							その他発電用原子炉の附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	二 主配管(常設)	8.1.2.5 可搬型代替直流電源設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							その他発電用原子炉の附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	二 主配管(常設)	8.1.2.7 可搬型窒素ガス供給装置発電設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】56/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項
高圧炉心スプレイ系 ディーゼル発電設備燃 料移送ポンプ入口配管 分岐点～高圧炉心ス プレイ系ディーゼル発電設 備軽油タンク払出口	その他発電用原子炉の 附属施設 6 補機駆動用燃料設備	1 燃料設備	(4) 主配管(常設)	8.6.1 補機駆動用燃料 設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	その他発電用原子炉の 附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	二 主配管(常設)	8.1.2.3 ガスタービン発 電設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							その他発電用原子炉の 附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	二 主配管(常設)	8.1.2.4 可搬型代替交流 電源設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							その他発電用原子炉の 附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	二 主配管(常設)	8.1.2.5 可搬型代替直流 電源設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							その他発電用原子炉の 附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	二 主配管(常設)	8.1.2.7 可搬型窒素ガス 供給装置発電設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
ガスタービン発電設備軽 油タンク出口配管分岐 点～ガスタービン発電設 備軽油タンク払出口	その他発電用原子炉の 附属施設 6 補機駆動用燃料設備	1 燃料設備	(4) 主配管(常設)	8.6.1 補機駆動用燃料 設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	その他発電用原子炉の 附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	二 主配管(常設)	8.1.2.4 可搬型代替交流 電源設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							その他発電用原子炉の 附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	二 主配管(常設)	8.1.2.5 可搬型代替直流 電源設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
							その他発電用原子炉の 附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	二 主配管(常設)	8.1.2.7 可搬型窒素ガス 供給装置発電設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表(配管)兼用先一覧【女川2号機】57/57

機器名称	主たる施設・設備登録区分					兼用する施設・設備登録区分					
	施設区分	設備区分/機器区分		系統名称	設備別記載事項	設備別記載事項(全項目)	施設区分	設備区分/機器区分	系統名称	設備別記載事項	
軽油払出用ホース(外径63mm:2m)	その他発電用原子炉の附属施設 6 補機駆動用燃料設備	1 燃料設備	(4) 主配管(可搬型)	8.6.1 補機駆動用燃料設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)	その他発電用原子炉の附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	二 主配管(可搬型)	8.1.2.3 ガスタービン発電設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							その他発電用原子炉の附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	二 主配管(可搬型)	8.1.2.4 可搬型代替交流電源設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							その他発電用原子炉の附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	二 主配管(可搬型)	8.1.2.5 可搬型代替直流電源設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							その他発電用原子炉の附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	二 主配管(可搬型)	8.1.2.7 可搬型窒素ガス供給装置発電設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
給油用ホース(φ25:50m)	その他発電用原子炉の附属施設 6 補機駆動用燃料設備	1 燃料設備	(4) 主配管(可搬型)	8.6.1 補機駆動用燃料設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)	その他発電用原子炉の附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	二 主配管(可搬型)	8.1.2.4 可搬型代替交流電源設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							その他発電用原子炉の附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	二 主配管(可搬型)	8.1.2.5 可搬型代替直流電源設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)
							その他発電用原子炉の附属施設 1 非常用電源設備	2 非常用発電装置 (4) 燃料設備	二 主配管(可搬型)	8.1.2.7 可搬型窒素ガス供給装置発電設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数(可搬型) 取付箇所(可搬型)